

令和6年度第3回大網白里市地域公共交通活性化協議会 次第

日時：令和6年12月17日（火） 10：00～

場所：保健文化センター 3階ホール

1 開会

2 会長挨拶

3 議 題

- (1) 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について資料1
- (2) 地域公共交通計画の評価について資料2-1、2-2
- (3) 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業・地域公共交通計画の変更について
資料3-1～3-3
- (4) 公共交通に関するアンケート調査の結果について資料4
- (5) 瑞穂地区への新たな公共交通の導入検討について資料5、資料6
- (6) 大網白里市コミュニティバス共通回数券の新料金区分の設定について（報告）

4 その他

5 閉会

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 (地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年12月17日

協議会名: 大網白里市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名: 地域内フリーダー系統確保維持費用庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
千葉中央バス(株)	増穂地区コミュニティバス 系統:中部コミュニティセンター ～中部コミュニティセンター (24.3km) 運行回数:8回/日 運賃:200円	住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していた だきたいとの助言を受けたため、白里地区コミュニティバス については、地区内にあった スーパーの閉店による地区内 住民への買物支援の需要を考 慮し、隣接地区にあるスーパー にバス停留所を設置した。	事業が計画に位置付けられ たとおり適切に実施され た。 A	事業が計画に位置付けられ た目標を達成した。 【目標】 1便平均 8.5人 1日平均 68人 年間 24,820人 【実績】 1便平均 8.6人 1日平均 69.5人 年間 25,366人 分析:ICカードによる運賃 支払いや回数券の導入など、 利便性向上の取組を実施し、 市広報紙やHPIにより継続的に 周知活動が続けられてきた ことが、少しずつ利用者の増加に 繋がっていると考ええる。	・運賃収入以外の収入を確保 するため、引き続きバス車両へ の有料広告掲載を行っていく。 ・回数乗車券をPRし、利用促進を図る。 ・アンケートや市民要望等から 市民ニーズの把握に努め、引 き続き運行計画の最適化を 図っていく。
	白里地区コミュニティバス 系統:白里公民館～大網白里 市役所(22.6km) 運行回数:6回/日 運賃 白里地区⇄大網市街地:500円 白里地区(大網市街地)⇄カス ミ:300円 白里地区内、大網市街地内の 乗降:200円			事業が計画に位置付けられ た目標を達成出来なかつ た。 【目標】 1便平均 2.5人 1日平均 12.5人 年間 3,037人 【実績】 1便平均 2.0人 1日平均 11.6人 年間 2,810人 分析:目標値は達成できな かったが、スーパーにバス 停を新設したことにより、利 用者が増加した。	
秋葉タクシー(有)			A	C	・運賃収入以外の収入を確保 するため、引き続きバス車両へ の有料広告掲載を行っていく。 ・回数乗車券をPRし、利用促進を図る。 ・アンケートや市民要望等から 市民ニーズの把握に努め、引 き続き運行計画の最適化を 図っていく。

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年12月17日

協議会名：	大網白里市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	○大網白里市地域公共交通計画の基本的な方針 基本方針1：まちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す 基本方針2：公共交通間の連携や誰もが利用しやすい環境を整備し利便性向上を目指す 基本方針3：多様な主体との連携による持続可能な公共交通ネットワークの確立を目指す ○上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性 公共交通の役割分担を明確化し、フィーダー系統として公共交通空白地域の解消及び高齢者や障がい者などの日常の移動手段を確保することで、移動困難者の外出機会の増加を図っていく。

令和6年度 大網白里市地域公共交通活性化協議会（千葉県大網白里市） （地域内リーダー系統確保維持事業）

地域の公共交通等の現況・課題

本市は、東西に細長い形状をしており、人口が集中している西側にはJR大網駅を中心とした鉄道、路線バス、高速バスなどが運行している。また、東西を貫く幹線道路の県道山田台大網白里線には、民間路線バスが運行している。一方で駅やバス停から1km以上離れている「公共交通空白地域」も存在し、それらの解消を図るため、2路線のコミュニティバスを運行している。なお、急速な高齢化に伴い、運転免許返納者の増加が考えられることから、新たな交通システムの確保について、検討が必要となっている。

交通計画の基本的な方針／定性的な目標

【基本方針】

- 基本方針1：まちづくりと連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す
- 基本方針2：公共交通間の連携や誰もが利用しやすい環境を整備し利便性向上を目指す
- 基本方針3：多様な主体との連携による持続可能な公共交通ネットワークの確立を目指す

【定性的な目標】

- ①増穂地区コミュニティバス 1便平均8.5人/1日 平均68人/年間24,820人
- ②白里地区コミュニティバス 1便平均2.5人/1日 平均12.5人/年間3,037人

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

- ・広報やホームページ等を用いた周知活動、情報提供の充実
→ 広報紙やホームページにて乗り方案内や利用実績を情報発信した
- ・利用状況のデータ収集→毎月の利用状況をグラフ化し、ホームページにて公表した
- ・地域における利用促進、各種団体との連携
→ 地元企業の参画機会としてコミュニティバスへの有料広告掲載事業を実施した
- ・路線バス乗継ぎ利用者への割引→リーダー系統と路線バスを乗り継いで利用する方に乗継ぎ割引を実施した
- ・スーパーカーカスへバス停を設置した（白里地区コミュニティバス）

アピールポイント

- ・コミュニティバスの停留所を商業施設敷地内に設置することで利用者の利便性向上を図っている
- ・民間路線バスと競合する区間を乗降不可区間とすることで、競合を回避している
- ・リーダー系統と路線バスを乗り継いで利用する方に乗継ぎ割引を実施している
- ・白里地区コミュニティバスを利用する方向けに移動の始点から終点までの公共交通に関する「あなただけの時刻表」を作成している



面積	58.08km ²
人口（R6.4.1時点）	47,980人
15歳未満	4,710人
65歳以上	16,553人
高齢化率	34.5%

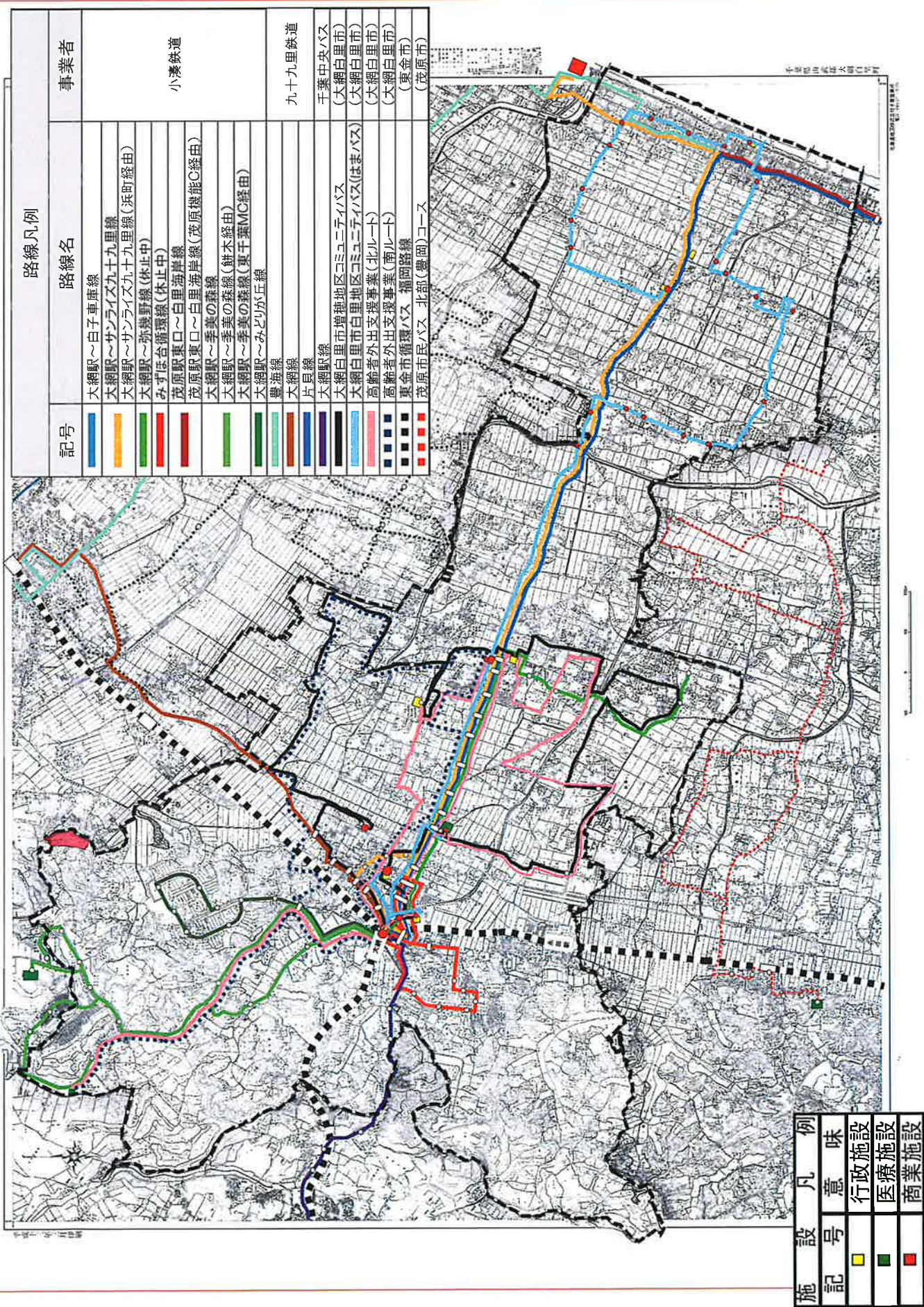
交通計画の計画期間

令和4年4月～令和9年3月

協議会開催状況

- （令和6事業年度に係るもの）
- ・令和5年度第1回（令和5年6月15日）
令和6年度地域公共交通確保維持改善事業について
- ・第3回（令和6年12月17日）
令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

運行系統図



コミュニティバスの利用者数及び収支率

増穂地区コミュニティバス

	1便平均(人)	1日平均(人)	年間(人)	収支率(%)
令和4年度	8.2	65.0	24,006	23.9
令和5年度	8.6	69.1	25,244	23.2
令和6年度	8.6	69.5	25,366	21.6

白里地区コミュニティバス

	1便平均(人)	1日平均(人)	年間(人)	収支率(%)
令和4年度	2.1	10.8	2,613	14.5
令和5年度	2.1	10.6	2,584	14.2
令和6年度	2.0	11.6	2,810	9.99

○参考資料として以下の資料を添付

- ・地域の公共交通体系図(鉄道、民間路線バス、コミバス 等)
- ・補助対象事業の運行系統図・区域図
- ・補助対象事業の実績データ(利用者数、収支 等)
- ・その他参考となる資料(利用促進の取組 等)

企 第 号
令和 6 年〇月〇日

国土交通大臣 殿

大網白里市長 金坂 昌典

大網白里市地域公共交通計画の評価等の結果の送付について

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第 7 条の 2 第 2 項に基づき、大網白里市
地域公共交通計画の調査、分析及び評価の結果を送付いたします。

問い合わせ先

(住所)	千葉県大網白里市大網 115-2
(担当部署)	企画政策課政策推進班
(担当者)	齋藤
(電話番号)	0475-70-0315
(FAX 番号)	0475-72-8454
(メールアドレス)	kikakuseisaku@city.oamishirasato.lg.jp

別添

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

大網白里市地域公共交通計画の評価等結果（令和5年4月～令和6年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
コミュニティバスの利用者数を維持（現状値：令和元年度/31,169人）	- 市民要望などを踏まえた運行計画の検討。 - 年間バスポート、回数券の導入	市の有するデータをを用いて計画	・27,399人 ・コロナ禍前と比べ、ＩＣカードによる運賃支払いや回数券の導入、運行計画の変更など利便性向上のための取組みは実施しているものの、利用者数は9割程度の回復となっている。	・目標は未達成 ・回数乗車をPRし、利用促進を図る。 ・アンケートや市民要望等から市民ニーズの把握に努め、引き続き運行計画の最適化を図っていく。	
公共交通全般に関する満足度の上昇（現状値：令和元年度/2.0）	- 公共交通施策全般の充実 ・コミュニティバスの運行 ・既存バス路線維持に向けた取組等	市民アンケートの結果を確認	・令和6年度満足度：1.98 ・満足度は、前回と比較して若干低下した。	・目標は未達成。 ・公共交通施策充実のため、市民のニーズを把握しながら、コミュニティバスの運行、路線バス維持等に努める。	市総合計画策定時に実施する市民アンケート（5年1度）により評価する。令和6年5月に市民アンケートを実施。
高齢者外出支援事業バスカード年間発行枚数（現状値：令和2年度/20件）→30件	高齢者外出支援事業の周知	市が管理するバスカード発行リストで確認	・16件 ・免許返納後の高齢者の移動手段の1つとなっている。	・目標は未達成 ・利用者増加に向け、市広報紙やHPで周知していく。	
市内鉄道駅1日平均乗車人員を維持（現状値：令和元年度/11,030人）	・運行本数の増加やバリアフリー化等について要望活動を実施 ・鉄道関係の各種イベントを開催	鉄道事業者の有するデータを用いて計画	・9,368人（大網駅：8,580人、永田駅：788人） ・コロナ禍前の8割程度まで回復している。	・目標は未達成 ・利用者の利便性向上のため、引き続き要望活動を行っていく。	
路線バス利用者数を維持（現状値：令和元年度/446,286人）	・路線バス運行情報等の周知	バス事業者の有するデータを用いて計画	・472,259人	・目標は達成 ・小湊鉄道(株)が運行する大網駅～白子草庫線、大網駅～サンライズ九十九里線は、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金を活用して運行を維持しているため、引き続き生産性向上の取組みを行っていく。	
乗継ぎダイヤ等に関する事業者との協議を実施（現状値：令和2年度/1回）→1回以上	・乗継時間等について各交通事業者と検討	事業実施状況の把握	・適宜、事業者と実施した。（電話・メール等でのやり取りを含む）	・目標は達成 ・利用者ニーズに沿った運行内容となるよう引き続き協議を行っていく。	

運行情報案内に関する利用者満足度の上昇（現状値：令和3年9月/60.6%）→65.6%	—	—	—	—	地域公共交通計画の見直し時に実施する市民アンケート（5年に1度）により評価する。
商業施設等との連携サービスの実施（計画期間内に1件以上実施）	—	—	—	—	商業施設等との協議を行った際に、その内容・結果について評価を実施する。
地区や団体に対する公共交通のPR活動を実施（現状値：令和元年度/2件）→2件以上	・自治会行事への参加や市民アンケートの実施	事業実施状況の把握	・2回実施 内訳 ①地元地区への集会に参加し、PRを実施 ②令和5年7月：公共交通に関する市民アンケートを実施	・目標は達成 ・持続可能な公共交通となるよう、引き続きモバイルマネジメントを行っていく。	
コミュニティバス収支率の上昇（現状値：令和元年度/31.4%）→上昇	・市民要望などを踏まえた運行計画の検討。 ・年間バスポート、回数券の導入	市の有するデータを用いて計測	・21.2%（増穂地区：25.2%、白里地区：12.2%） ・燃料費や人件費等の上昇に伴い、運行に係る委託料も上昇しているため、収支率の減少幅が大きくなっている。	・目標は未達成 ・運賃収入以外の収入を確保するため、引き続きバス車両への有料広告掲載を行っていく。 ・回数乗車券をPRし、利用促進を図る。	
コミュニティバスに有料広告掲載を実施（現状値：令和3年度/2件）→2件以上	・コミュニティバスへの有料広告掲載	事業実施状況の把握	・6件（車外広告5件） ・特定の方にPRする車内広告より、不特定多数の方にPRできる車外広告の方が人気がある。	・目標は達成 ・引き続きPRを実施していく。	

（記載に当たったての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価にならないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

陸上交通様式第 1 (日本産業規格 A 列 4 番)

大交協第 号
令和 6 年 月 日

国土交通大臣 殿

大網白里市地域公共交通活性化協議会
千葉県大網白里市大網 1 1 5 番地 2
会 長 轟 朝 幸

地域公共交通計画変更届出書

令和 6 年 9 月 2 5 日付け国総地第 1 2 5 号で国土交通大臣より認定された地域公共交通計画を以下のとおり変更するので、関係書類を添えて届出します。

○ 変更日

令和 7 年 4 月 1 日

○ 変更箇所

- ・表 1 「運送予定者名」を変更

○ 変更理由

- ・グループ会社再編に伴う事業者名の変更による

(4)

※本届出書に、変更する事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

※「変更理由」は、具体的に記述すること。

令和 6 年 1 2 月 1 7 日

大網白里市地域公共交通活性化協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

大網白里市では、平成 20 年 6 月に「大網白里町地域公共交通活性化協議会」を設立。平成 21 年 3 月には「大網白里町地域公共交通総合連携計画」を、平成 29 年 3 月には「大網白里市地域公共交通網形成計画」を、令和 4 年 3 月には「大網白里市地域公共交通計画」を策定しこれらの計画に基づき、持続可能な公共交通の実現に向け、各種事業を実施してきた。

市内には、ＪＲ外房線及びＪＲ東金線、民間バス会社による路線バスが運行しているものの、鉄道駅やバス停留所が最寄り 1 km にない公共交通空白地域が存在しており、これを解消するとともに、高齢者や運転免許自主返納者など、交通弱者の買い物や通院などの日常生活の交通手段を確保するため、増穂地区及び白里地区にてコミュニティバスを運行している。

本市の高齢化率は年々上昇しており、交通弱者の増加が見込まれることから、地域公共交通確保維持事業により、コミュニティバスの運行を確保・持続することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

①増穂地区コミュニティバス

事業年度	目標値（利用者数、収支率）	
R 7 (R 6. 10～R 7. 9)	1 便平均利用者数	9. 0 人
	1 日平均利用者数	7 2 人
	年間利用者数	2 6, 2 8 0 人
	収支率	2 5. 0 %
R 8 (R 7. 10～R 8. 9)	1 便平均利用者数	9. 5 人
	1 日平均利用者数	7 6 人
	年間利用者数	2 7, 7 4 0 人
	収支率	2 7. 0 %
R 9 (R 8. 10～R 9. 9)	1 便平均利用者数	1 0. 0 人
	1 日平均利用者数	8 0 人
	年間利用者数	2 9, 2 0 0 人
	収支率	2 9. 0 %
参考（実績値） R 5 (R 4. 10～R 5. 9)	1 便平均利用者数	8. 5 人
	1 日平均利用者数	6 8 人
	年間利用者数	2 5, 2 4 4 人
	収支率	2 3. 2 %

②白里地区コミュニティバス

事業年度	目標値（利用者数、収支率）	
R 7 (R 6. 10～R 7. 9)	1 便平均利用者数	2. 8 人
	1 日平均利用者数	1 6. 8 人
	年間利用者数	4, 0 8 2 人
	収支率	1 1. 0 %
R 8 (R 7. 10～R 8. 9)	1 便平均利用者数	3. 0 人
	1 日平均利用者数	1 8 人
	年間利用者数	4, 3 7 4 人
	収支率	1 2. 0 %
R 9 (R 8. 10～R 9. 9)	1 便平均利用者数	3. 2 人
	1 日平均利用者数	1 9. 2 人
	年間利用者数	4, 6 6 6 人
	収支率	1 3. 0 %
参考（実績値） R 5 (R 4. 10～R 5. 9)	1 便平均利用者数	2. 1 人
	1 日平均利用者数	1 0. 5 人
	年間利用者数	2, 5 8 4 人
	収支率	1 0. 4 %

（２）事業の効果

①増穂地区コミュニティバス

コミュニティバスを運行することにより、増穂地区に存在する公共交通空白地域（清名幸谷、上谷新田、南横川等）の大部分が解消され、高齢者や運転免許自主返納者等の移動手段の確保並びに外出支援が可能になる。

②白里地区コミュニティバス

コミュニティバスを運行することにより、白里地区に存在する公共交通空白地域（北今泉５区、細草８区、四天木９区等）の大部分が解消され、高齢者や運転免許自主返納者等の移動手段の確保並びに外出支援が可能になる。

（大網白里市地域公共交通計画 ８２ページ参照）

３．２．の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・ 運行便数、運行ルートの見直し（大網白里市、交通事業者、地域）
- ・ バス停情報のオープンデータ化（大網白里市、交通事業者）
- ・ 商業施設等と連携した割引サービスや企画切符の発行（地元企業等、事業者、大網白里市）
- ・ 地元自治会等にモビリティ・マネジメントを実施（大網白里市、地域）

- ・コミュニティバスへの有料広告掲載（大網白里市、地域）
（大網白里市地域公共交通計画 75 ページ～81 ページ参照）

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び 運送予定者

別添表 1 のとおり

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

市と運行事業者間で委託契約を締結し、毎月定額を市から運行事業者へ支出する。

増穂地区コミュニティバス：23,424,298 円（令和 6 年度支出予定額）

白里地区コミュニティバス：9,233,028 円（令和 6 年度支出予定額）

6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

利用者数や収支率について、数値指標による評価を実施

7. 別表 1 の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回 数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】

該当なし

8. 別表 1 の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ず る生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】

該当なし

9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその 他特記事項 【地域間幹線系統のみ】

該当なし

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

【地域内フィーダー系統のみ】

別添表 5 のとおり

11. 車両の取得に係る目的・必要性

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

(1) 事業の目標

該当なし

(2) 事業の効果

該当なし

13. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）

【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

(1) 事業の目標

該当なし

(2) 事業の効果

該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額

【貨客混載導入経費国庫補助金】

該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

令和6年6月11日 地域公共交通計画別紙等について協議、承認を得る。

令和6年12月17日 地域公共交通計画・別紙の変更について協議、承認を得る。

19. 利用者等の意見の反映状況

【増穂地区コミュニティバス】

平成24年4月の運行開始から複数回、ダイヤ改正やルートの見直しを実施しており、これらは、市民・利用者アンケートの結果や運行事業者とのヒアリング結果に基づき行ったものである。直近では、令和3年4月に、以前から利用者より要望があがっていたICカードでの運賃支払いを導入した。

【白里地区コミュニティバス】

平成30年10月から開始した実証運行期間中に市民・利用者アンケートの結果を参考に、白里地区内だけでなく、大網市街地へ向かう運行ルートの設定を実施し、令和3年10月の本格運行移行時には、利用状況や利用者意見を反映した運行計画へと変更を行った。

また、令和6年4月に運行ルートの変更・上り便を1便増便し、利用者数が増加した。

なお、両路線とも令和4年11月より、更なる利便性向上を図るため、回数券を導入した。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 千葉県大網白里市大網 1 1 5 番地 2

(所 属) 大網白里市企画政策課

(氏 名) 齋藤 裕輝

(電 話) 0475-70-0315

(e-mail) kikakuseisaku@city.oamishirasato.lg.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

市区町村名		運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統		系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利便増進 特別措置	運送継続 特別措置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)				令和7年度	
				起点	経由地	終点					運行態様の 別	基準ハで該 当する要件 (別表7・9)	補助対象地域間幹 線系統等と接続の 確保	基準ホで該 当する要件 (別表7のみ)		
大網白里市		千葉中央バス(株) 京成バス千葉 イースト(株)	(1)	増穂地区コミュニティバス (左回り循環)	中部コミュニティセンター ター	清名幸谷 大網駅 南横川	中部コミュニティセンター ター	24.3km 循環	365 回	1,460 回		①	路線定期運行	大網駅での乗降待合及び沿道乗降と接続。また、市内全域で地域間幹線系統 大網駅～白子車庫間、小網線(南大網駅～サンライズ大十九車庫)と接続。	③	
			(2)	増穂地区コミュニティバス (右回り循環)	中部コミュニティセンター ター	南横川 大網駅 清名幸谷	中部コミュニティセンター ター	24.3km 循環	365 回	1,460 回		①	路線定期運行	大網駅での乗降待合及び沿道乗降と接続。また、市内全域で地域間幹線系統 大網駅～白子車庫間、小網線(南大網駅～サンライズ大十九車庫)と接続。	③	
		(3)	白里地区コミュニティバス	白里公民館	コスモス荘 カスミ 大網病院	大網白里市役所	往 22.6km 復 22.6km	243 回	729 回		①	路線定期運行	大網駅での乗降待合及び沿道乗降と接続。また、市内全域で地域間幹線系統 大網駅～白子車庫間、小網線(南大網駅～サンライズ大十九車庫)と接続。	③		
		(4)					往 km 復 km	日	回							
		(5)					往 km 復 km	日	回							

(注)

- 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
- 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
- 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらからの欄に「循環」と記載すること。
- 「利便増進特別措置」及び「運送継続特別措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特別措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載すること。
- 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
- 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
- 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特別措置」について記載を要しない。
- 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

公共交通に関するアンケート調査の結果について

1 調査期間

令和 6 年 9 月 27 日（金）～10 月 16 日（水）

2 調査方法

調査票の送付：郵送

回答方法：郵送若しくはインターネット回答

3 調査対象

瑞穂地区在住の 65 歳以上の方がいる世帯 1,776 世帯

4 回収数

〈回答方法別回収数〉

郵 送：773 票

インターネット：189 票

合 計：962 票

回 収 率：54.2%

地区別回収数			
地区名	回収数	地区名	回収数
みずほ台 1 丁目	156	経 田	12
みずほ台 2 丁目	190	小中（平沢以外）	29
みずほ台 3 丁目	162	小中（平沢）	17
ながた野 1 丁目	43	砂 田	5
ながた野 2 丁目	88	神 房	9
永 田	117	萱 野	14
駒 込	120	合 計	962

5 アンケート結果の要旨（全体の結果）

- ・自家用車の保有状況：有効回答 957 件のうち、813 件（85%）が保有していると回答。

→7 割近くの世帯で、近い将来、自家用車以外の移動手段が必要となる見込み。

- ・自家用車「保有無し」の世帯の過半数が、移動手段の確保に困っている。
- ・駅、公共施設、買い物、病院に行く時に困っている世帯が多く見られた。

→利用希望の多かった行き先：アミリィ、ベイシア、大網病院、大網駅、市役所

- ・約 8 割の世帯が、「新たな交通施策が必要」と考えている。

必要だと思う交通施策について

コミュニティバスの運行：67.2%

デマンド型乗合タクシーの運行：10.8%

タクシーの利用補助券（割引券）の交付：20.1%

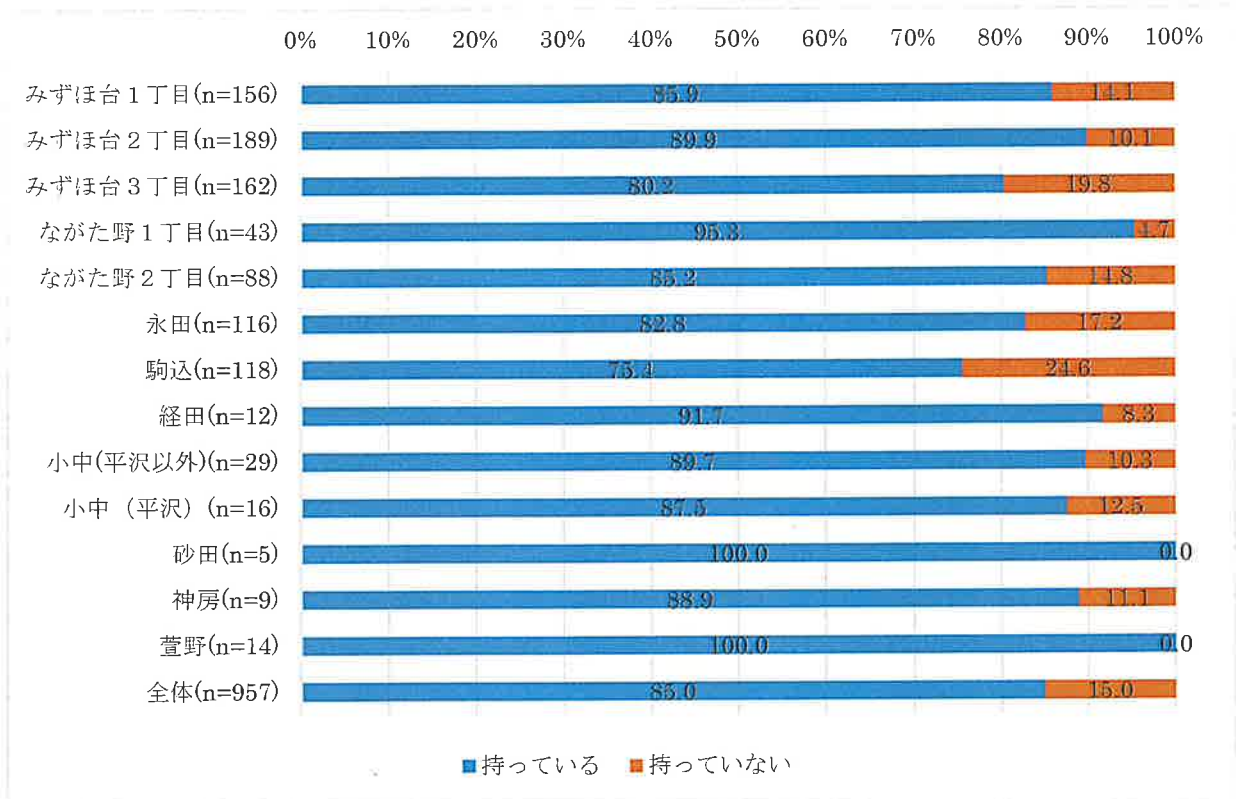
その他（電動自転車の貸出し・Uber 交通の導入等）：約 2%



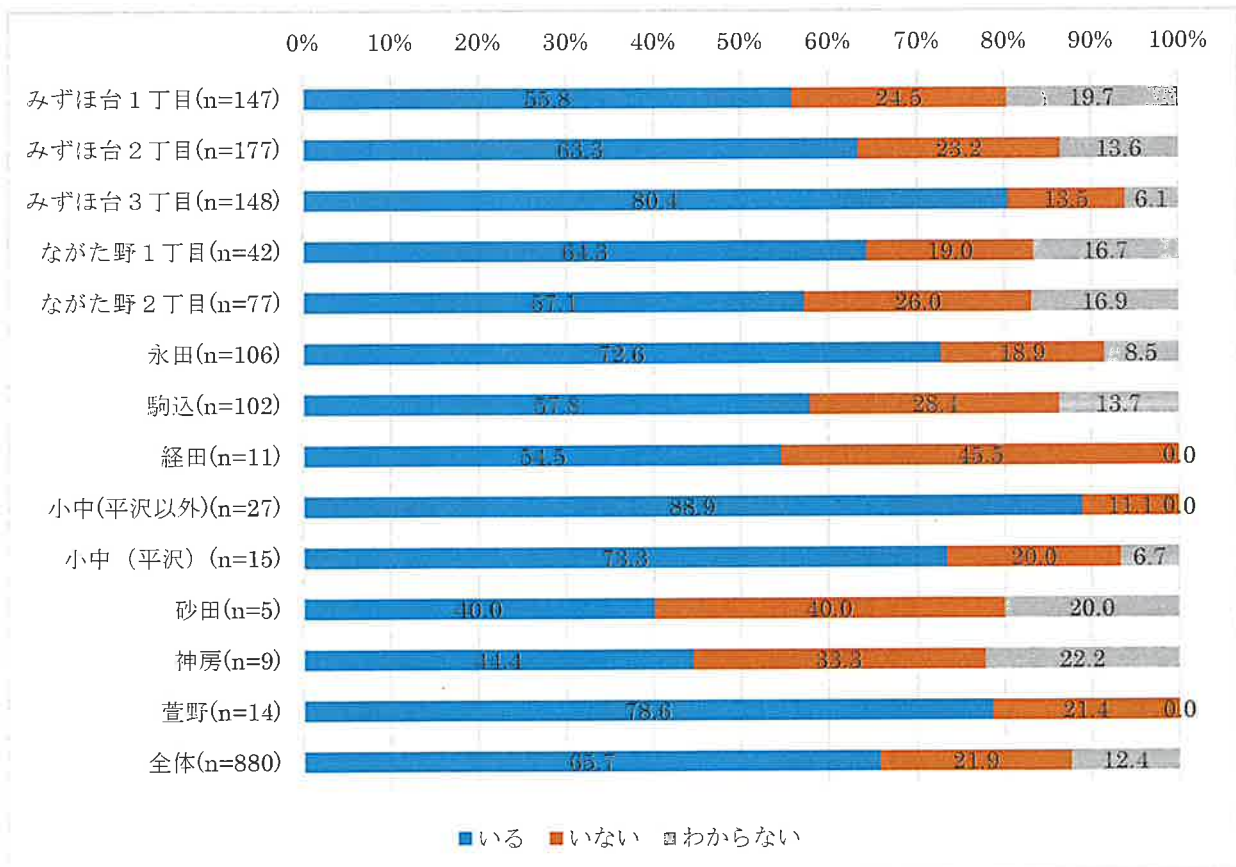
「コミュニティバスの運行」
が 7 割近くを占めた。

アンケート結果（一部抜粋）

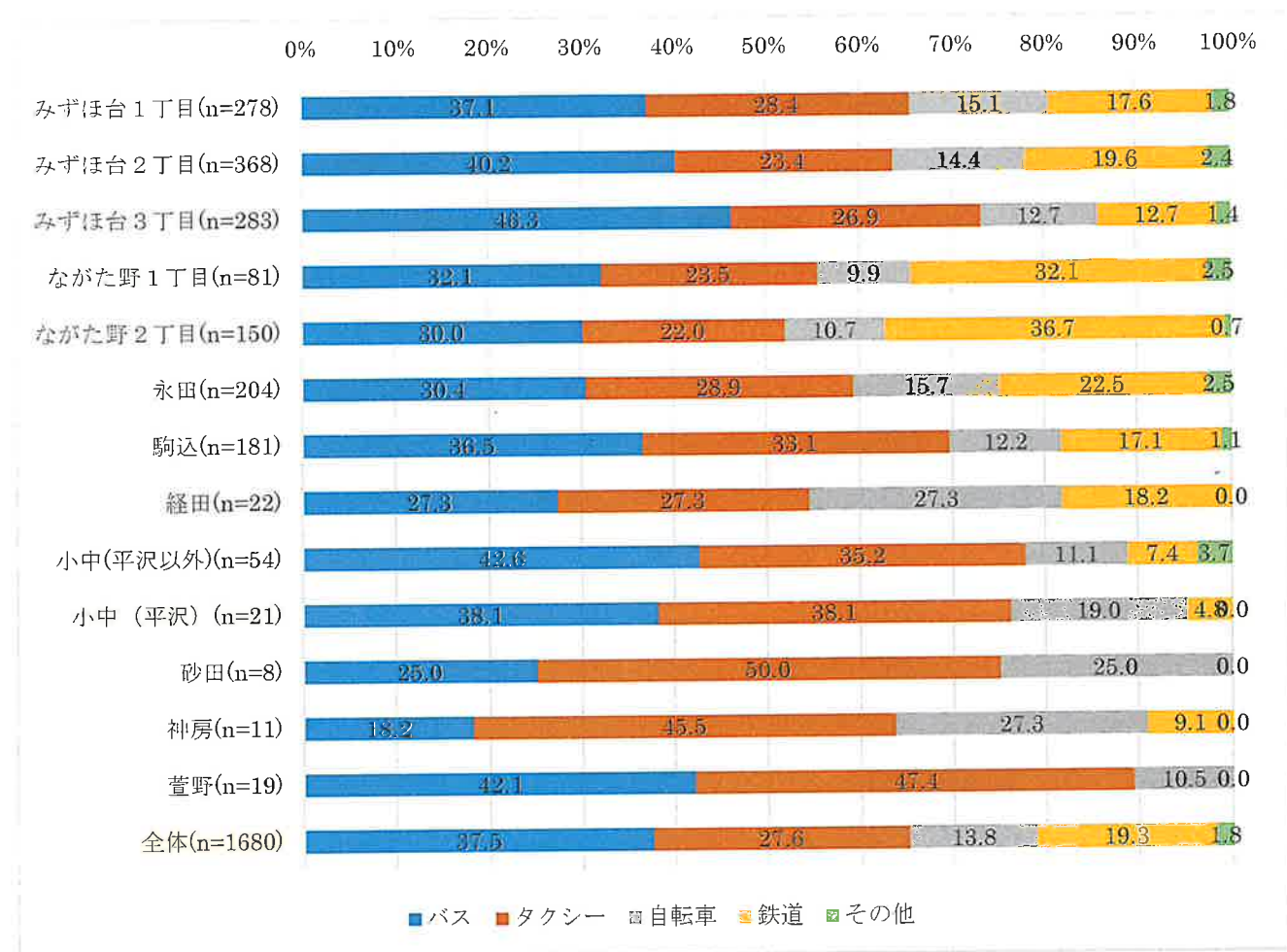
- ・あなたの世帯では、自家用車をお持ちですか。



- ・あなたの世帯では、近い将来、自家用車以外の交通手段が必要となる方はいますか。



- ・ 自家用車以外の交通手段が必要な場合、利用したいものを選んでください。



【自家用車の保有率について】

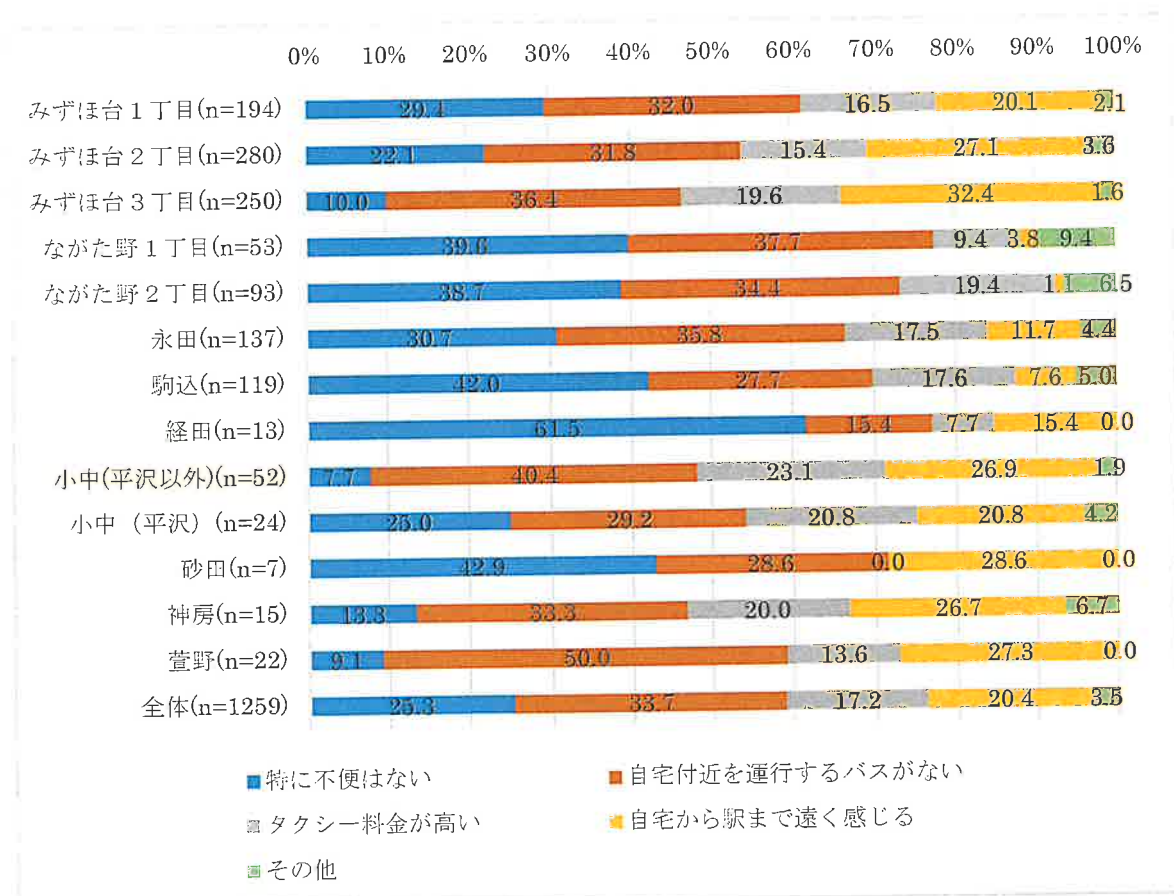
- ・ 自家用車の保有率は 85% となった。

また、駅から離れている地区では、自家用車の保有率が高くなった。

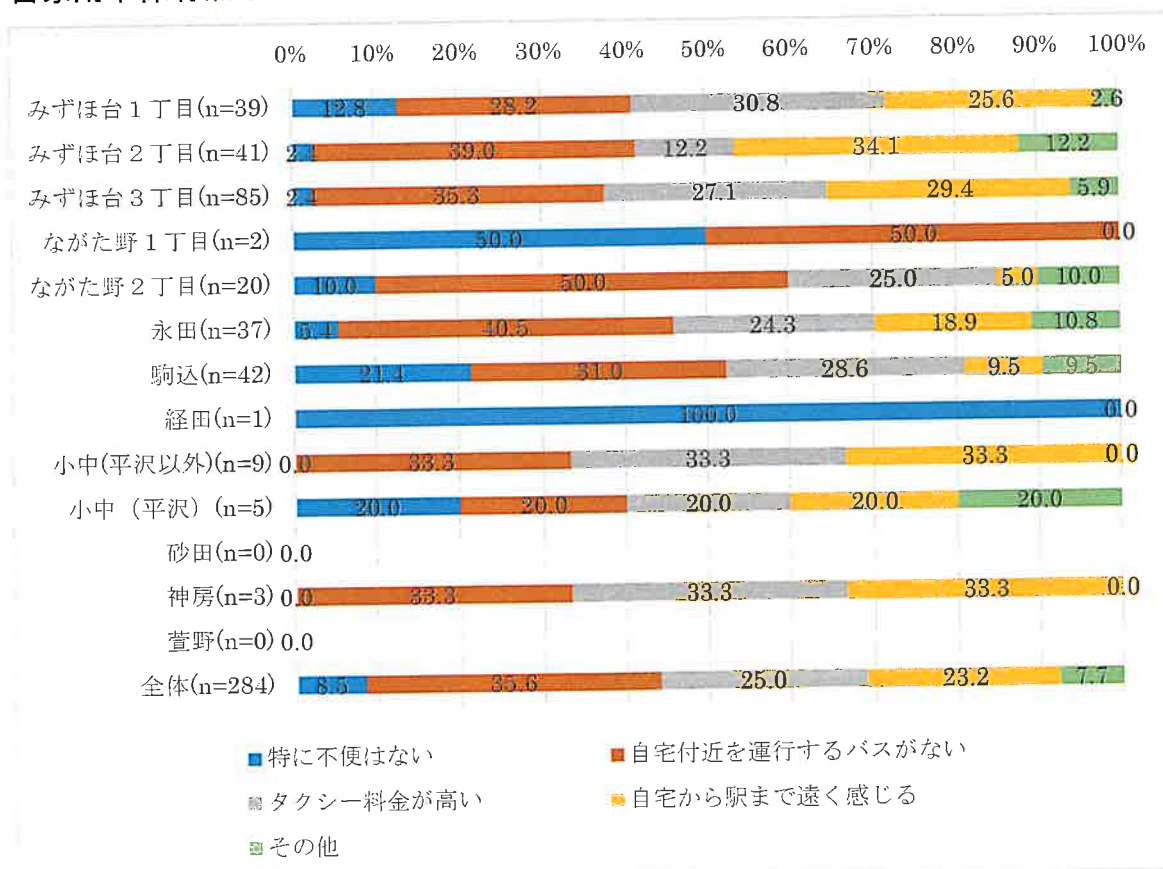
- ・ 自家用車が日常生活における主な移動手段となっているが、今後、高齢化による免許返納等に伴い、バス等自家用車以外の交通手段の需要が高くなると推測される。

・外出に際し、不便に感じていることがありますか。

自家用車保有有り



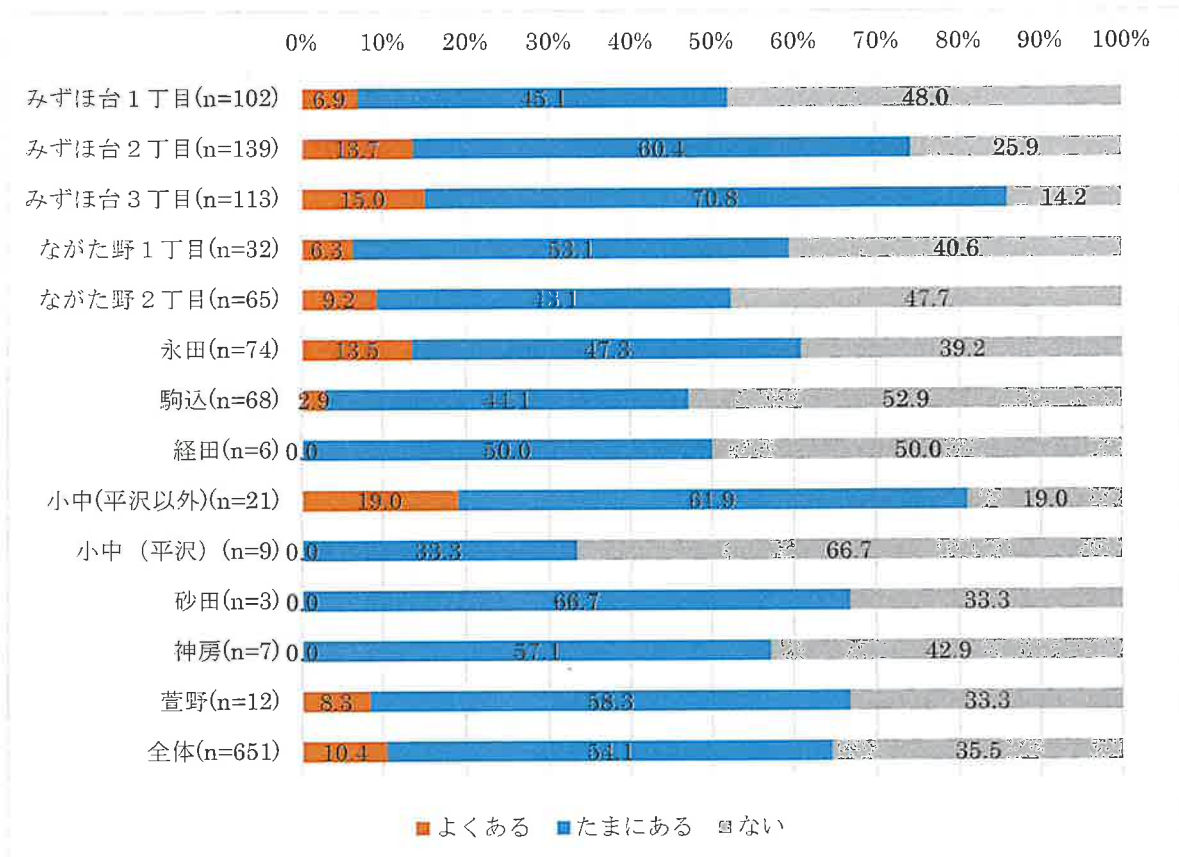
自家用車保有無し



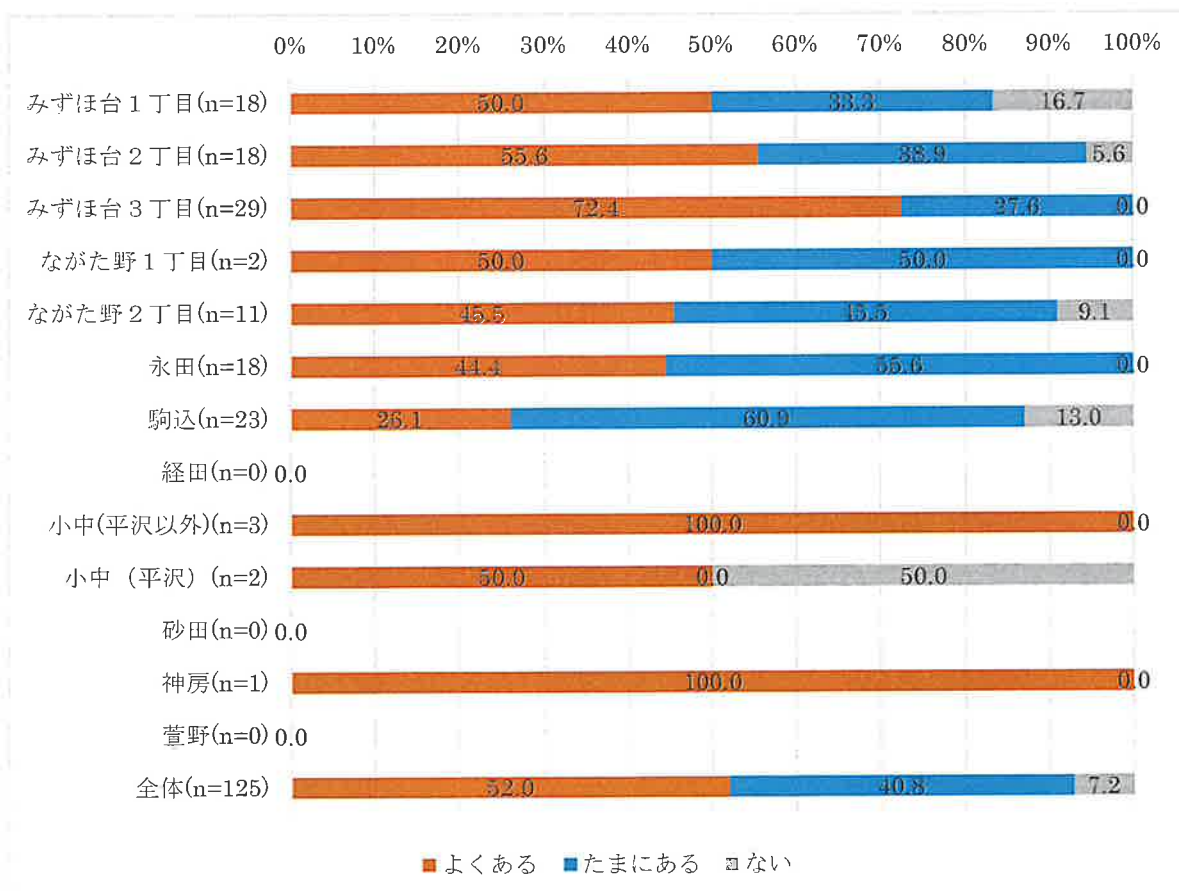
→「自宅付近を運行するバスがない」と回答する世帯が多く見られた。

・あなたの世帯では、移動手段に困るときがありますか。

自家用車保有有り



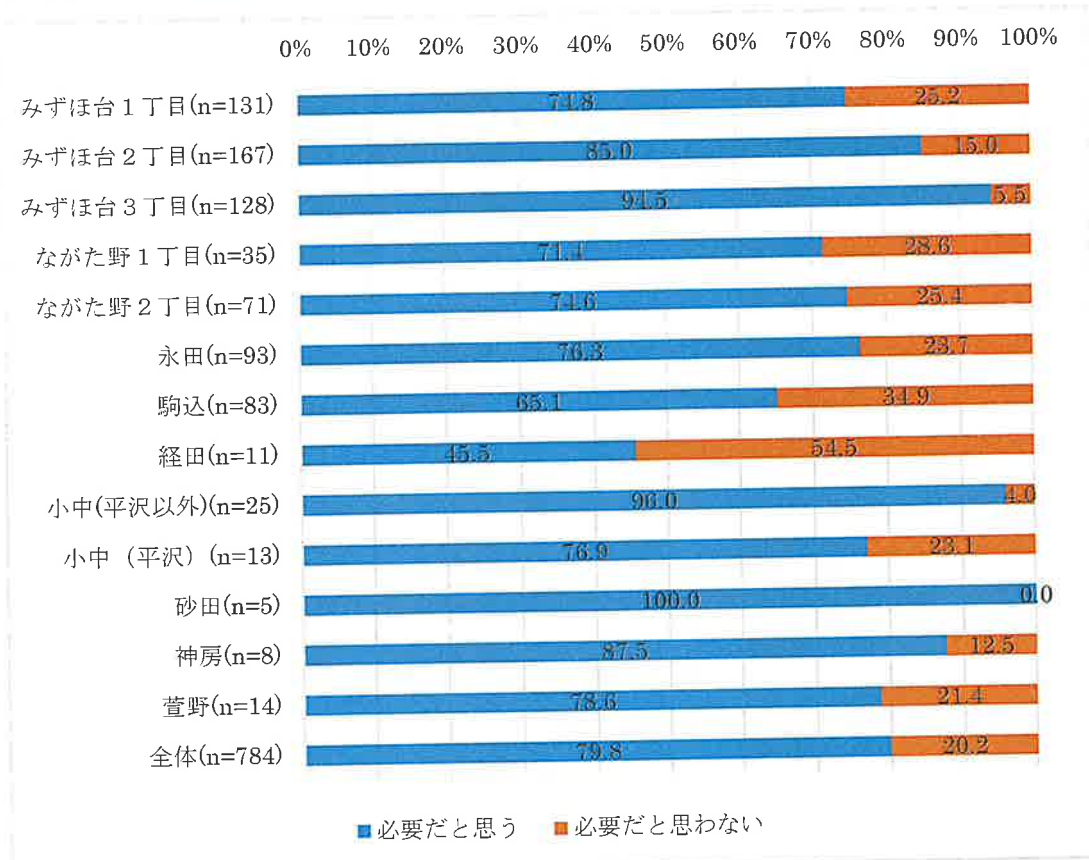
自家用車保有無し



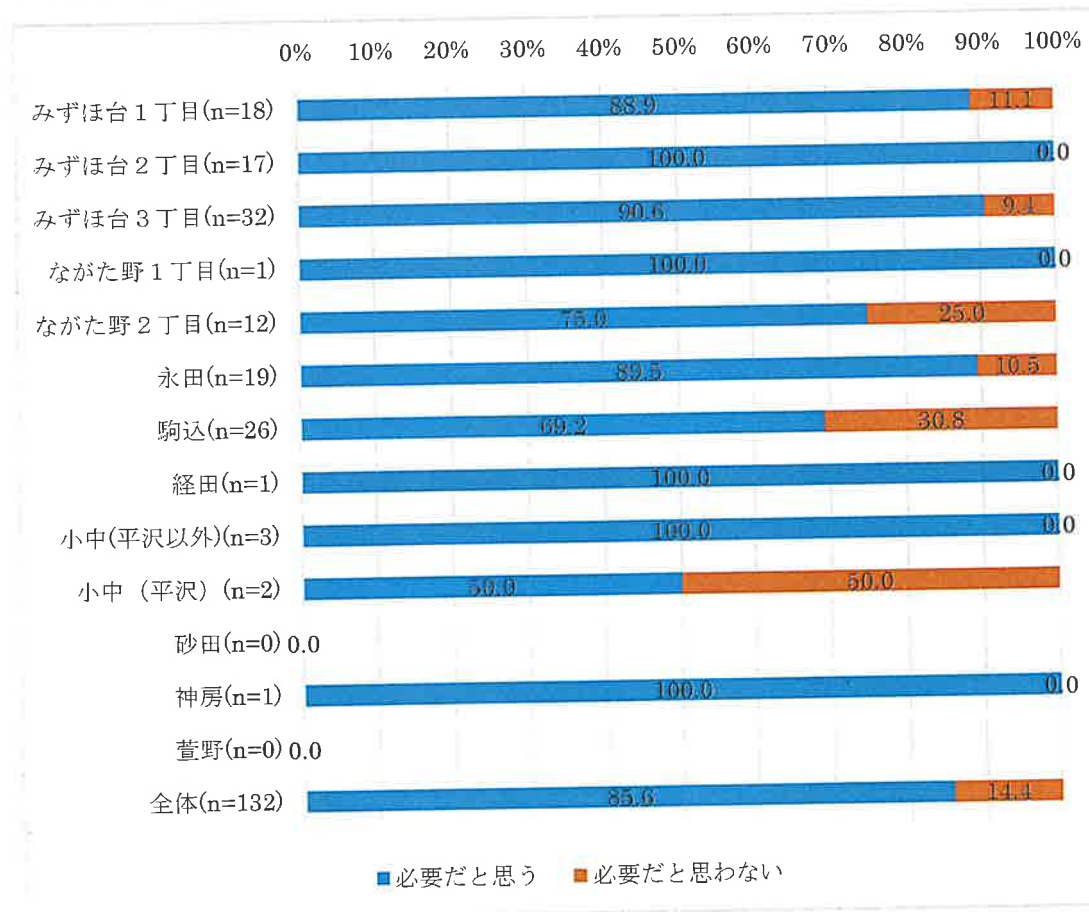
→「保有無し」の世帯の多くが、移動手段の確保に困っている。

・瑞穂地区に新たな交通施策は必要だと思いますか。

自家用車保有有り



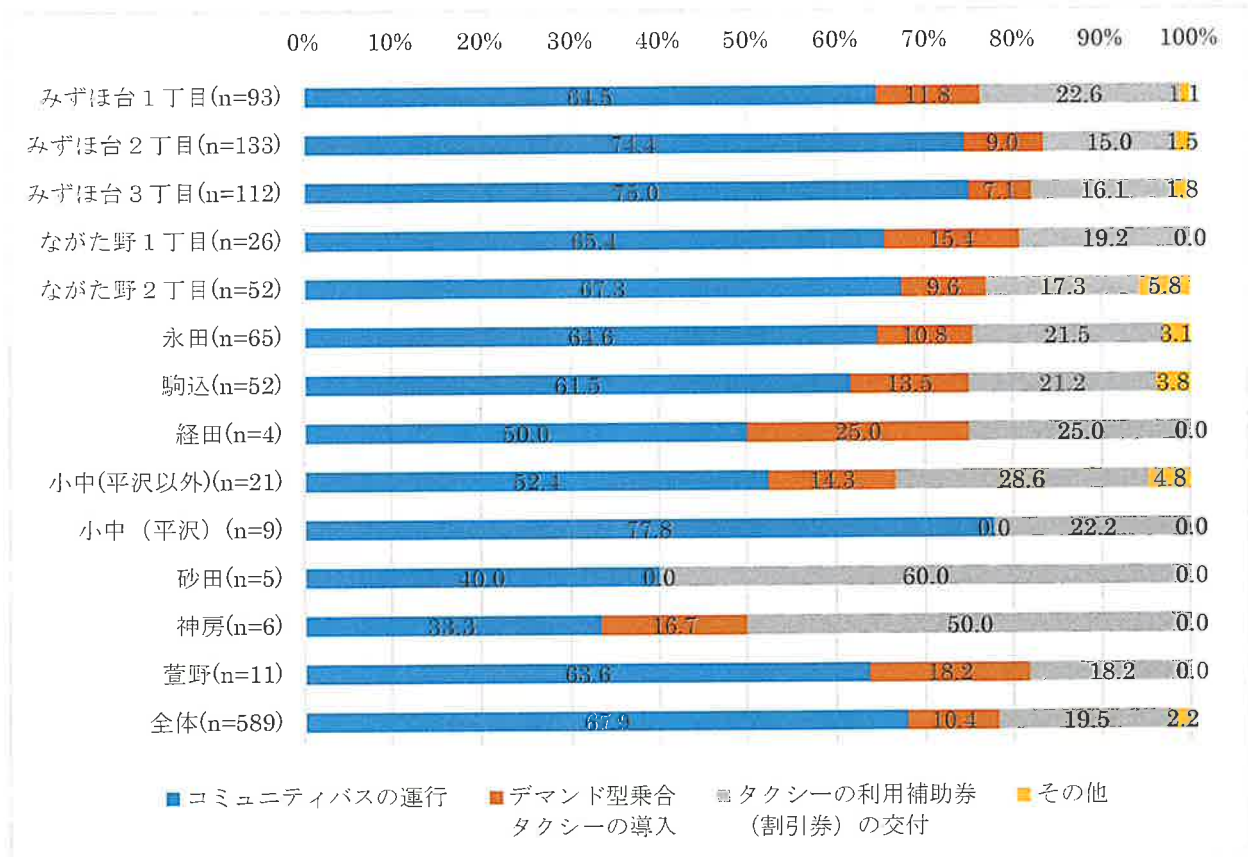
自家用車保有無し



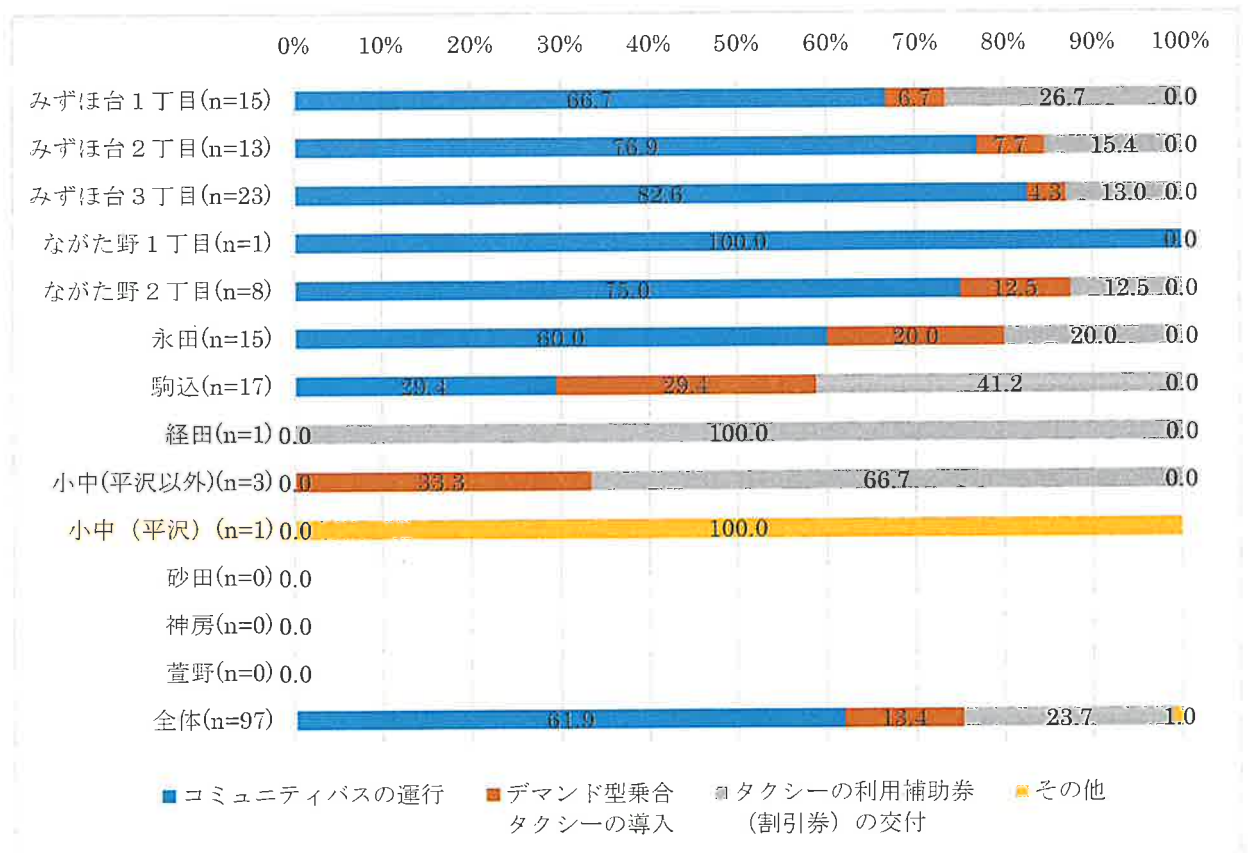
→ 8割近くの家世帯が、新たな交通施策が「必要」と考えている。

- ・瑞穂地区の交通施策について、今後どのような取組が必要と考えますか。

自家用車保有有り



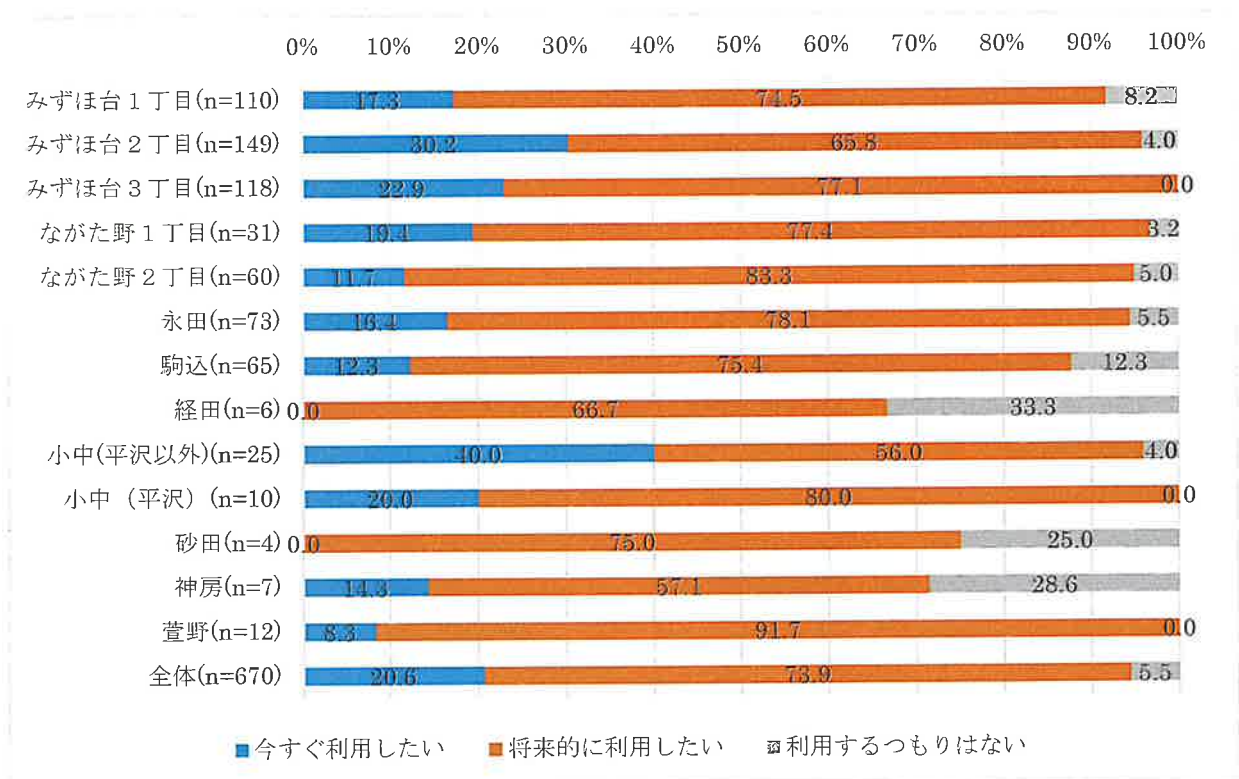
自家用車保有無し



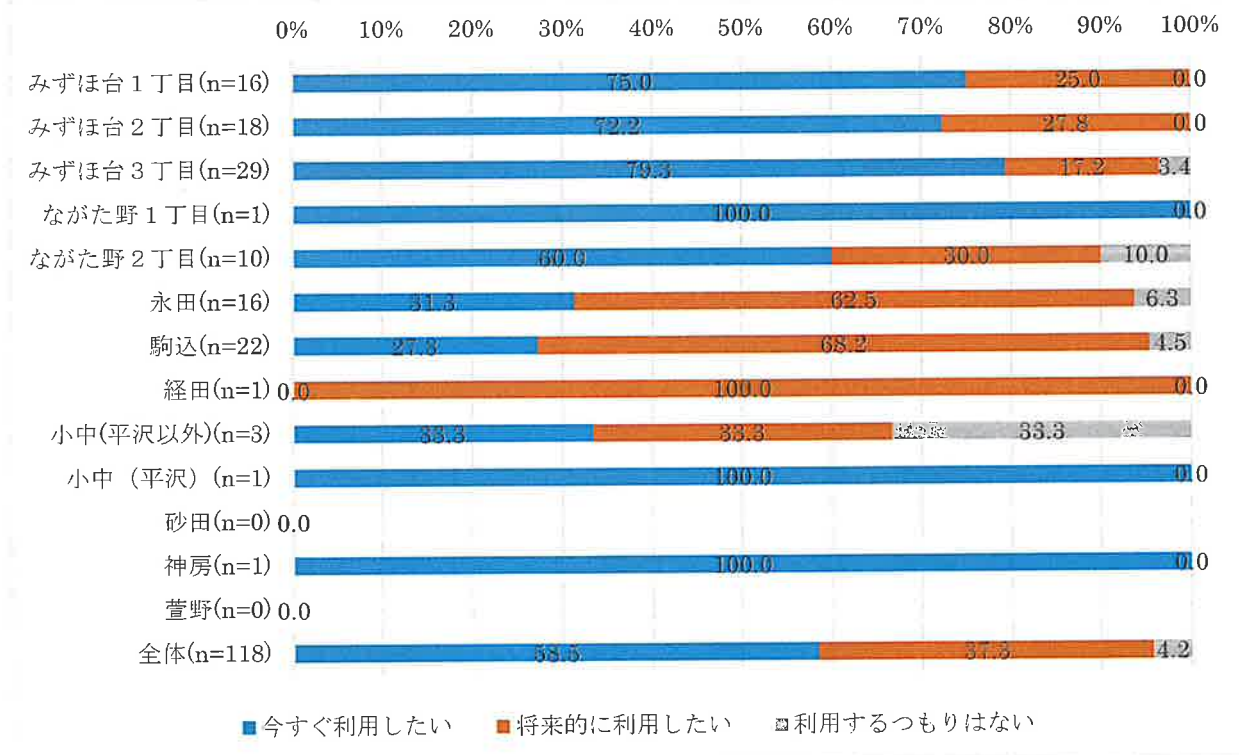
→「コミュニティバスの運行」が最も多かった。

・コミュニティバスが運行された場合、利用したいですか。

自家用車保有有り



自家用車保有無し



→「今すぐ利用したい」「将来的に利用したい」世帯が多く見られた。

瑞穂地区への新たな公共交通の導入検討について

アンケート結果より、瑞穂地区において、新たな公共交通導入の必要性が見られました。

要望としては、「コミュニティバスの運行」が多く見られ、現在・将来的な需要が見込まれます。

このため、市では、瑞穂地区の公共交通空白地域の解消・交通弱者等の支援のため、瑞穂地区における新たな公共交通として、「瑞穂地区コミュニティバス（仮称）」の導入を検討します。

1. 瑞穂地区コミュニティバス 運行計画（案）について

①運行エリア：瑞穂地区

②運賃：200円（瑞穂地区コミュニティバスと同額）

※アンケート結果では、約5割の世帯が、200円以下の運賃を希望。

③車両：14人乗り程度のワンボックス（瑞穂地区の道路事情等を考慮）

④運行開始目標：令和8年度

→1年間実証運行を行い、本格運行へ移行する予定。

⑤その他

- ・可能な範囲でフリー乗降を検討する。
- ・路線バスへ乗継ぎしやすいダイヤ、乗継ぎ割引を実施予定。

2. 地元地区の説明会

・より地域の実情、要望等に即した運行内容を実現するため、地元地域を対象にした説明会を実施します。

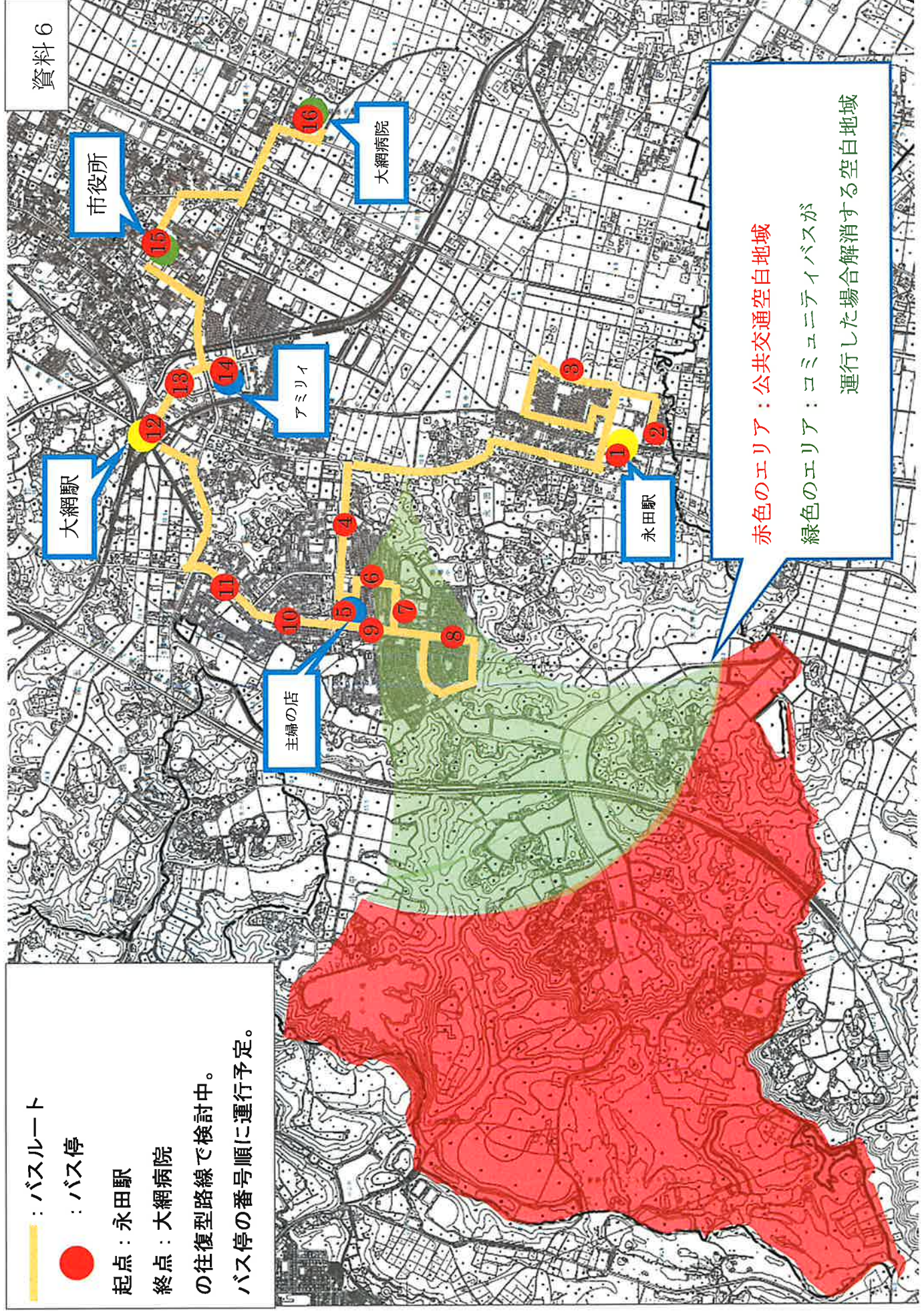
実施予定時期：令和7年2月～3月頃

対象：瑞穂地区の区・自治会

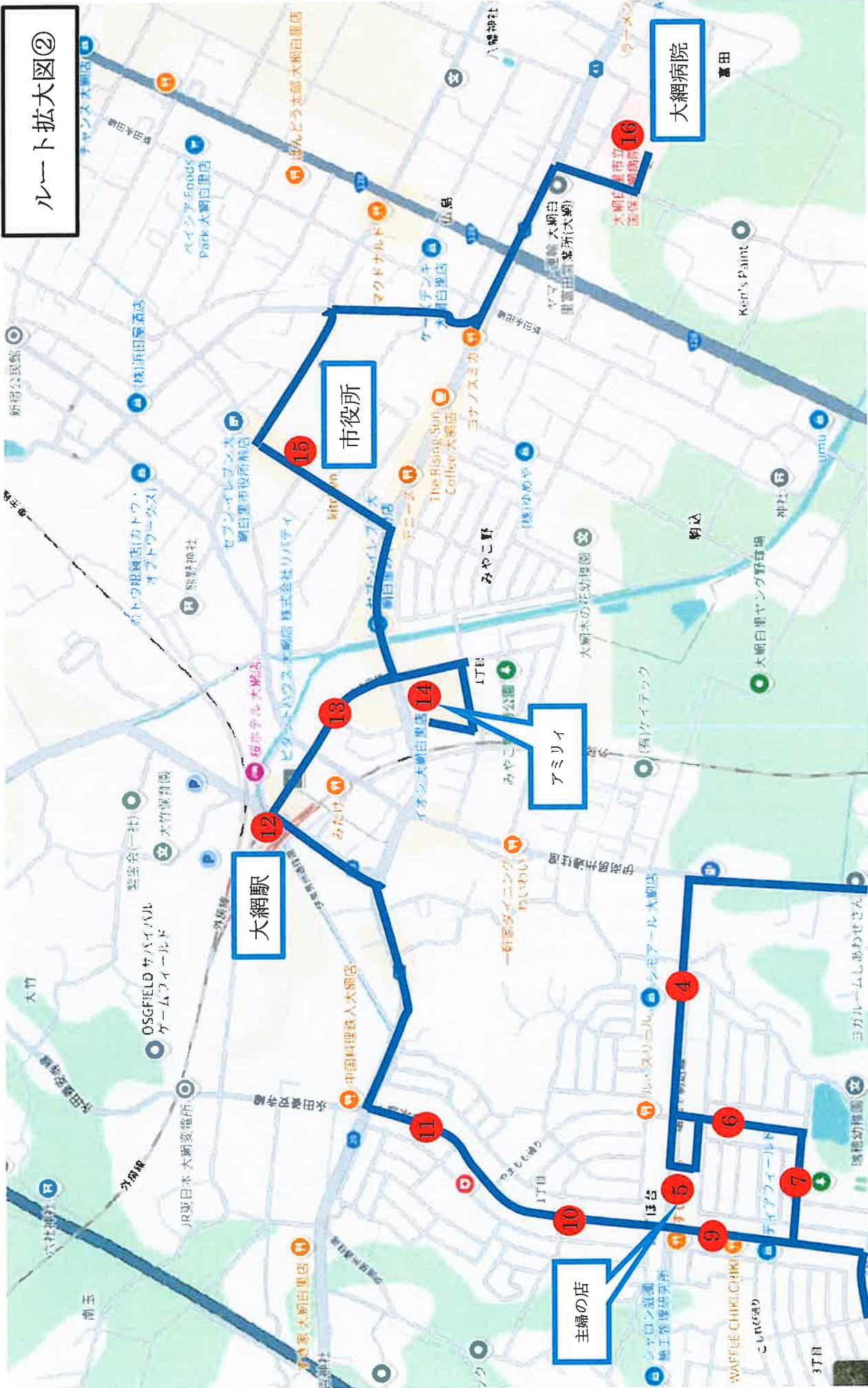
内容：瑞穂地区コミュニティバスの運行計画（案）について説明。また、コミュニティバスの運行ルート等について意見をいただく。

→地元の意見等を確認し、運行計画（案）に反映させる。

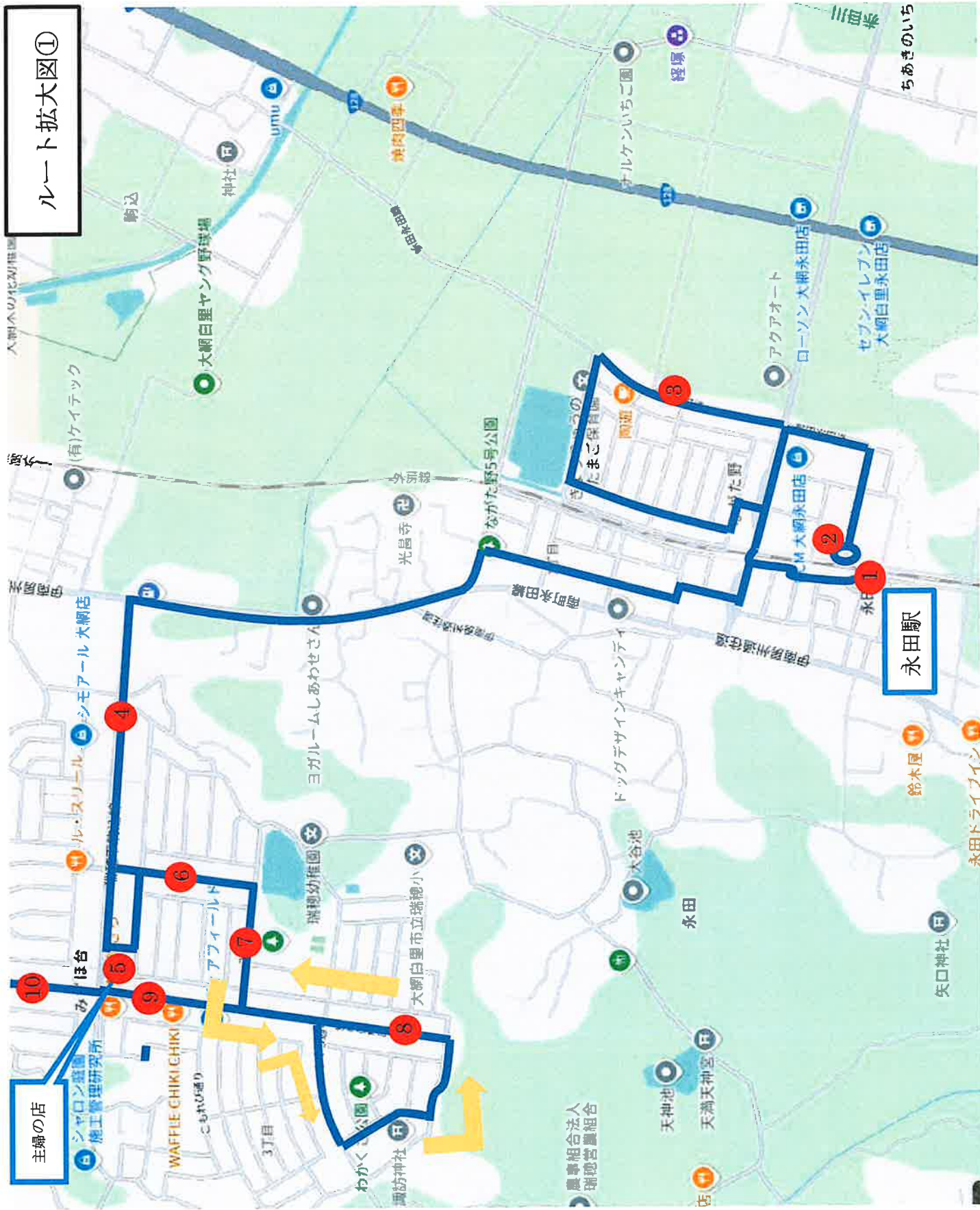
瑞穂地区コミュニティバス ルート (案)



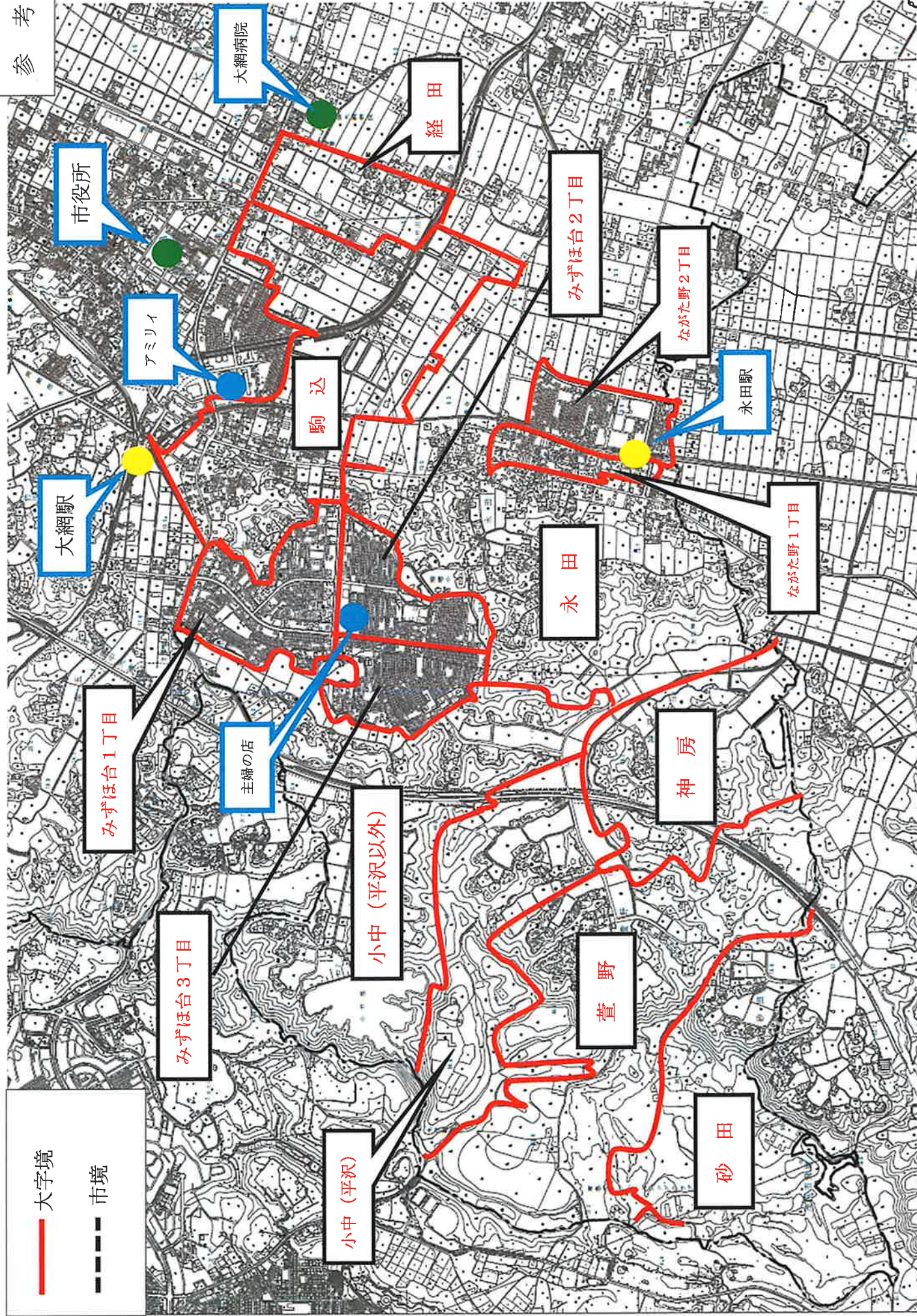
ルート拡大図②



ルート拡大図①



瑞穂地区 地図



暫 定 版

令和 6 年度
公共交通に関する
アンケート調査
【調査結果】

大網白里市 企画政策課

目 次

- 1 アンケート調査の概要
- 2 アンケート結果の詳細

1 アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

瑞穂地区における、公共交通に関するニーズを把握することで、今後の瑞穂地区における新たな交通手段を検討するための基礎資料とする。

(2) 実施概要

実施期間：令和6年9月27日（金）～10月16日（水）

対象者：瑞穂地区（一部の地区除く）の65歳以上の方がいる世帯
（時点：令和6年9月1日）

調査方法：配付→郵送

回収→郵送又はインターネットによる回答

(3) 回答数

〈回答方法別回答数〉

郵 送：773票

インターネット：189票

合 計：962票（回収率：54.2%）

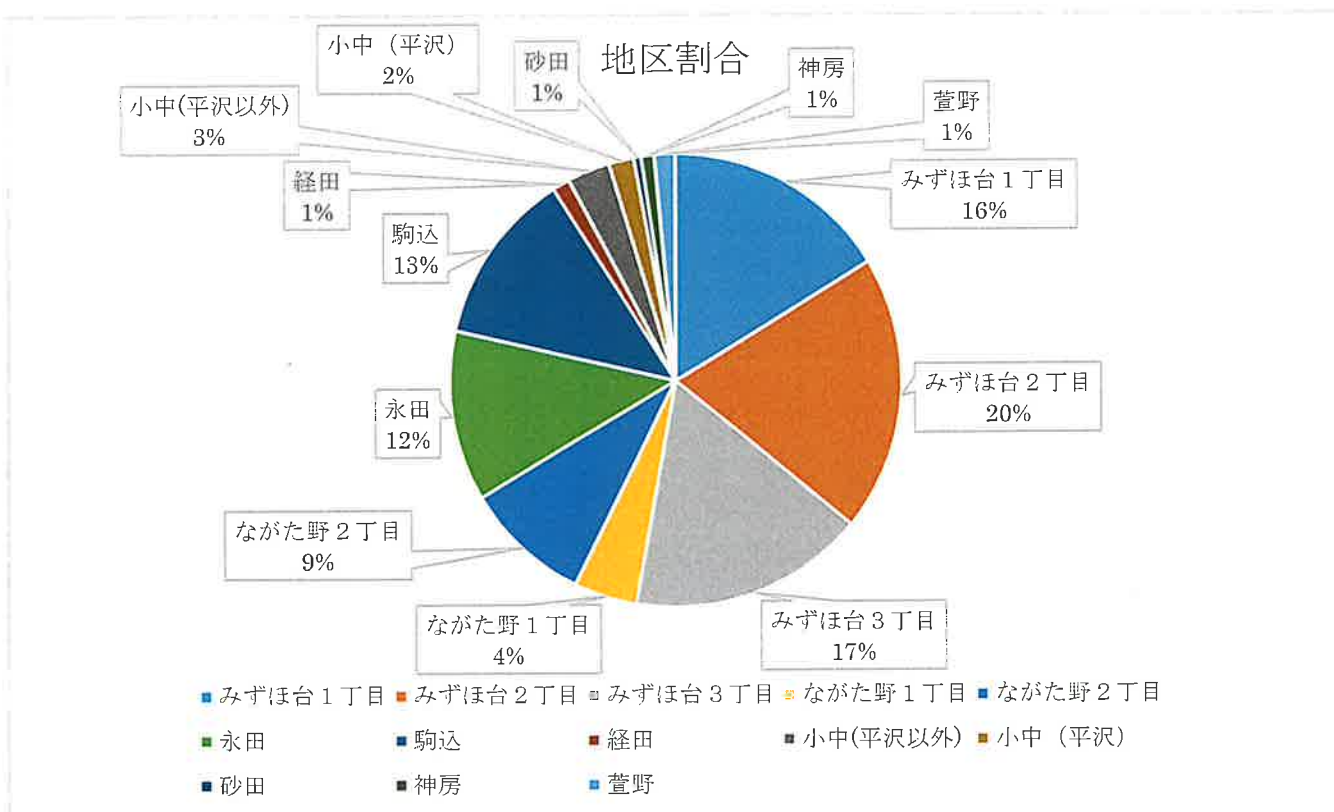
〈地区別回答数〉

みずほ台1丁目	156票
みずほ台2丁目	190票
みずほ台3丁目	162票
ながた野1丁目	43票
ながた野2丁目	88票
永 田	117票
駒 込	120票
経 田	12票
小中（平沢以外）	29票
小中（平沢）	17票
砂 田	5票
神 房	9票
萱 野	14票
合 計	962票

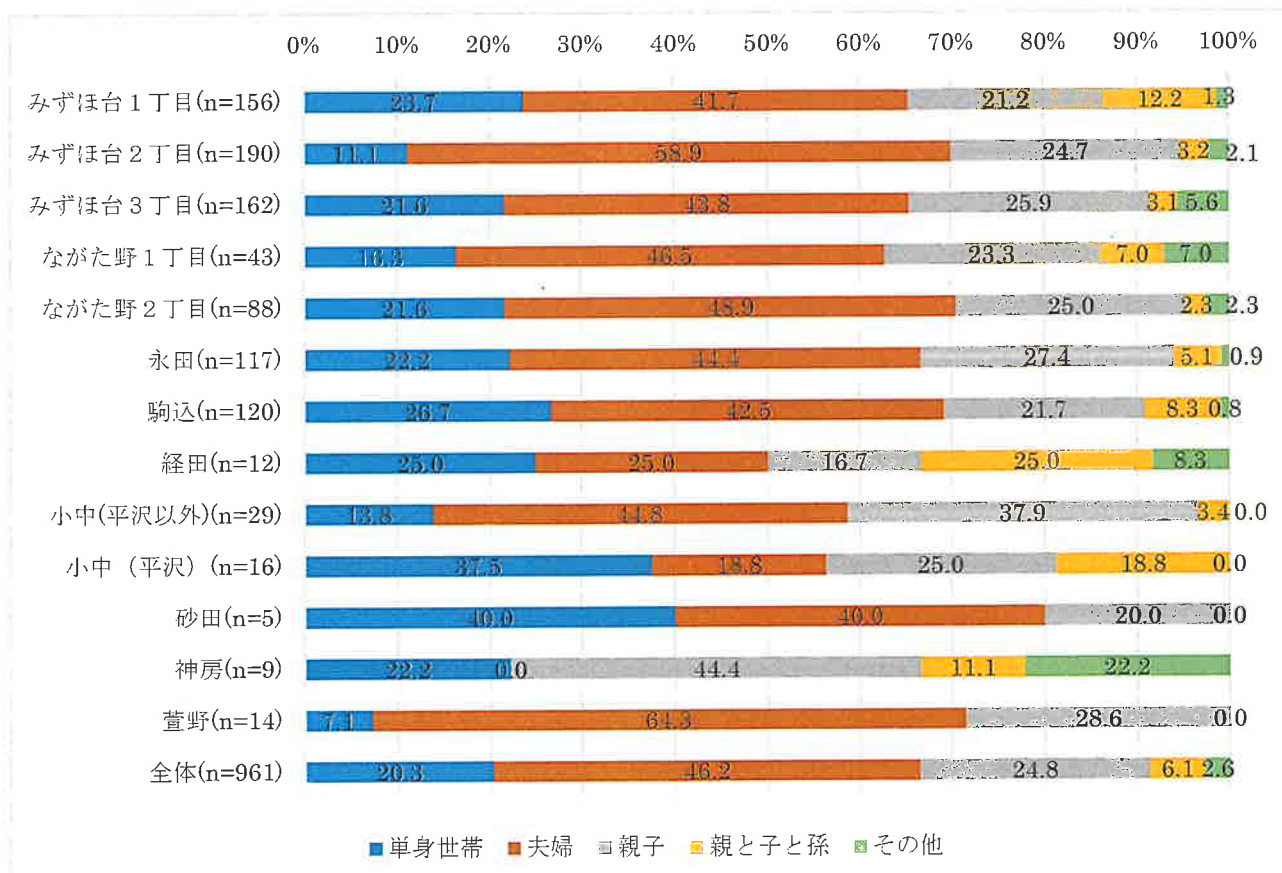
2 アンケート調査の詳細

問1 回答者属性・日常生活における移動方法等について

(1) お住まいの地区をお聞きます。



(2) 世帯構成についてお聞きます。(1つ選択)

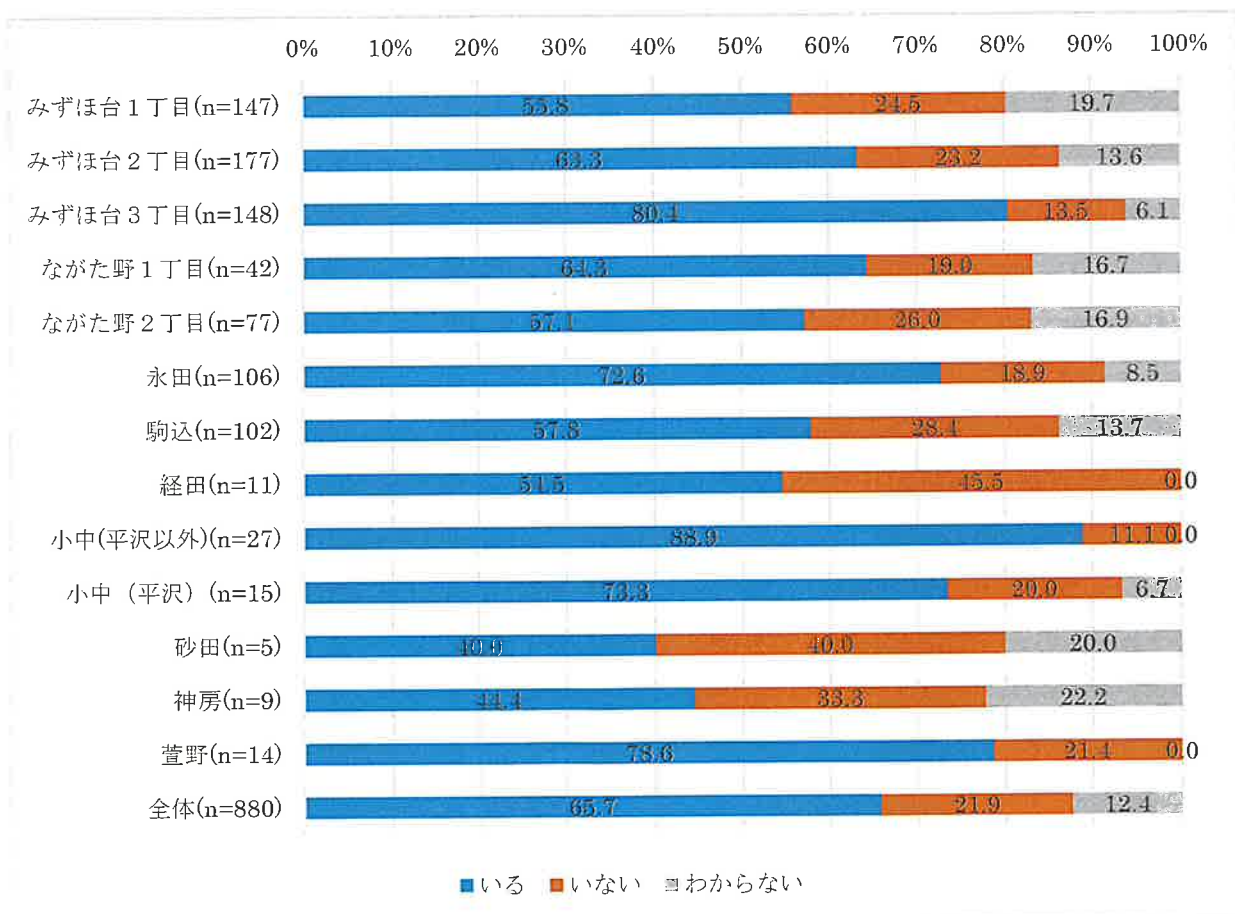


(3) あなたの世帯では、自家用車をお持ちですか。



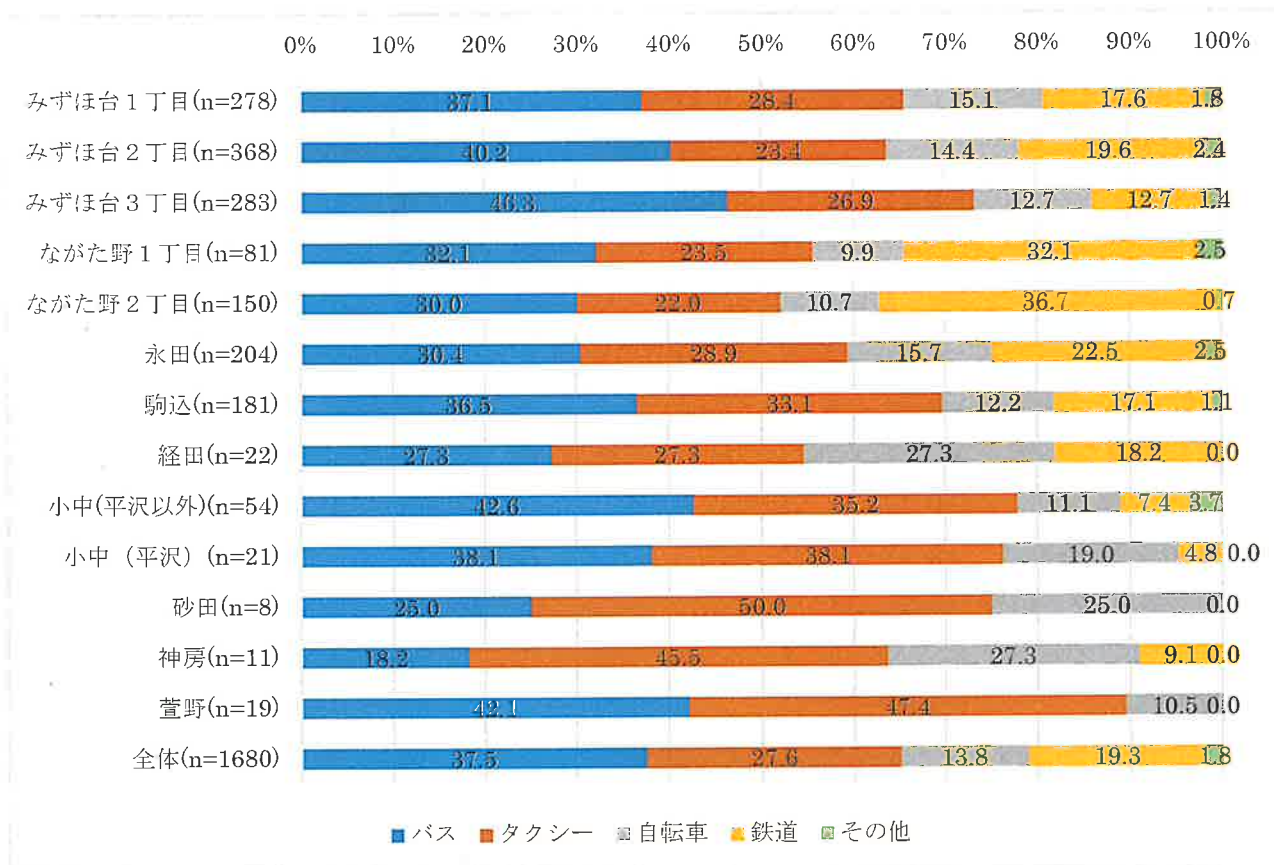
(4) あなたの世帯では、近い将来、自家用車以外の交通手段が必要となる方はいますか。

(1つ選択)

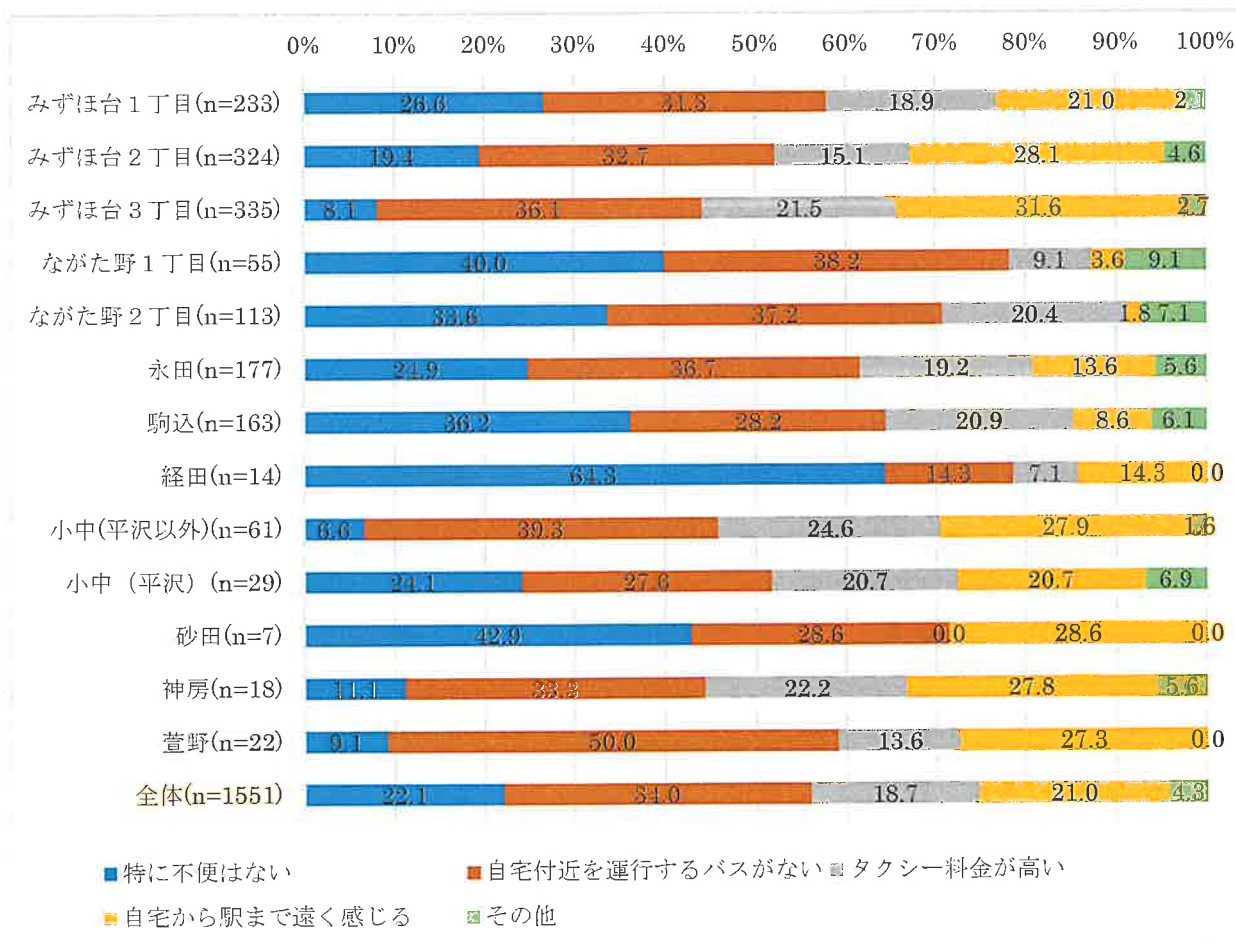


(5) 自家用車以外の交通手段が必要な場合、利用したいものを選んでください。

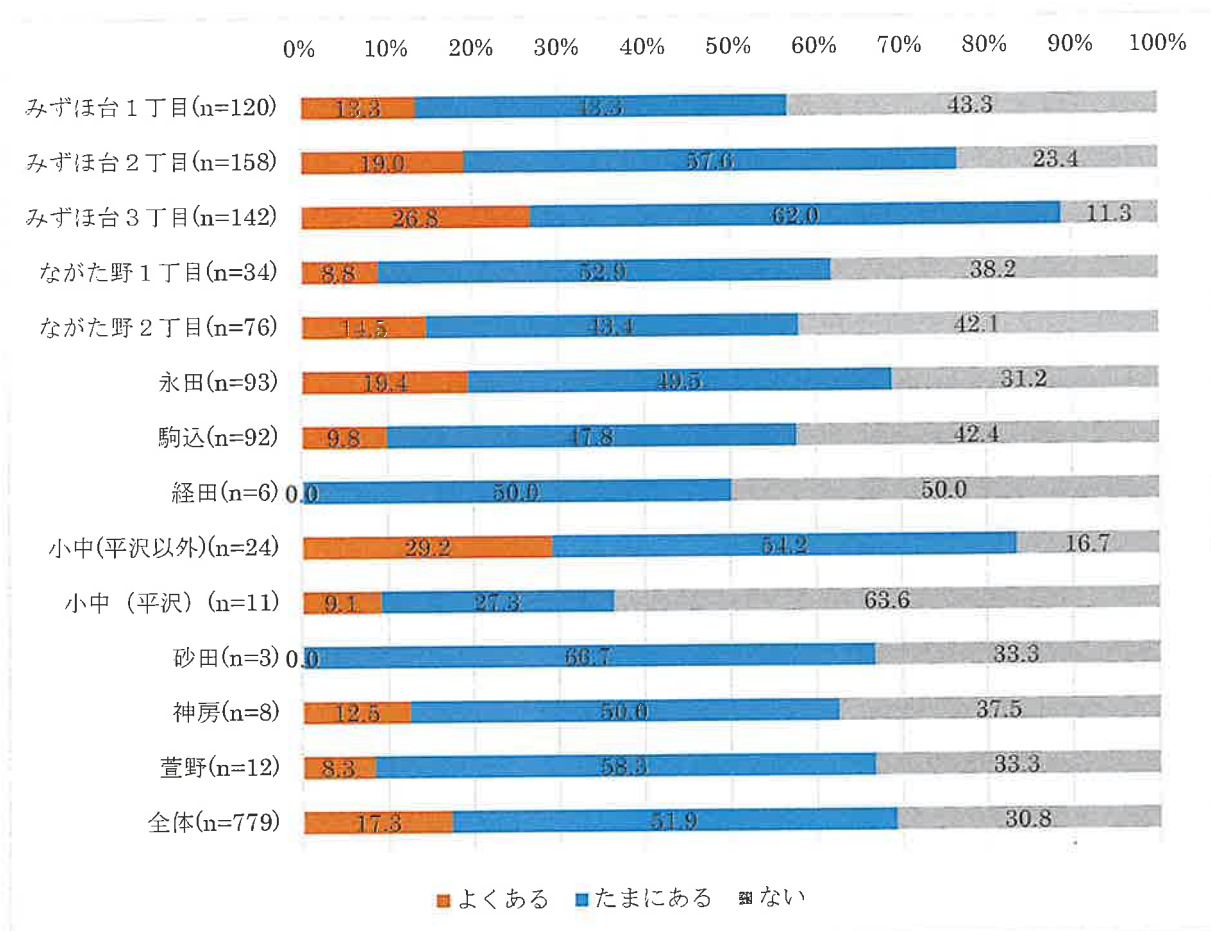
(複数選択可)



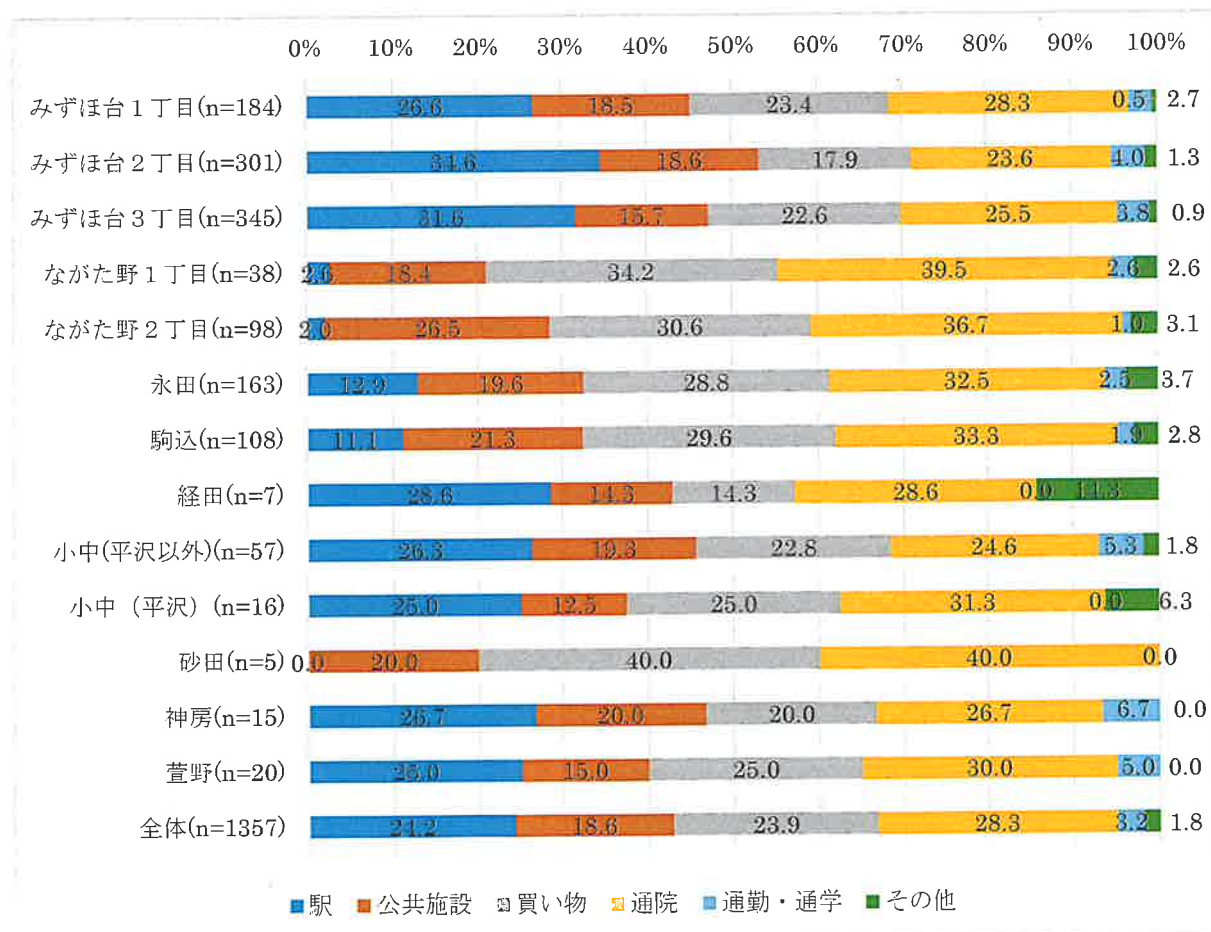
(6) 外出に際し、不便に感じていることがありますか。(複数選択可)



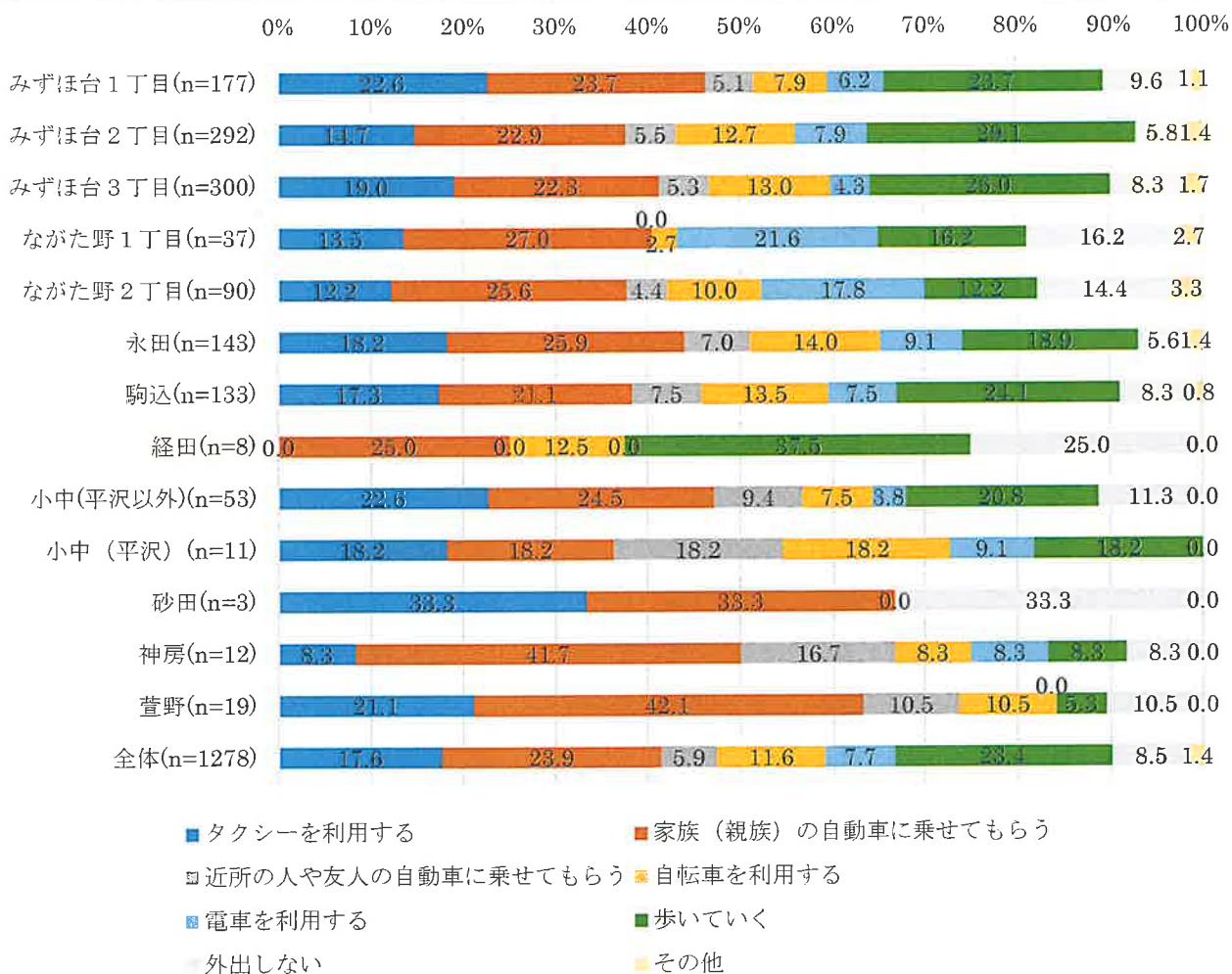
(7) あなたの世帯では、移動手段に困るときがありますか。(1つ選択)



(8) 具体的に、どこに行くときに困りますか。(複数選択可)

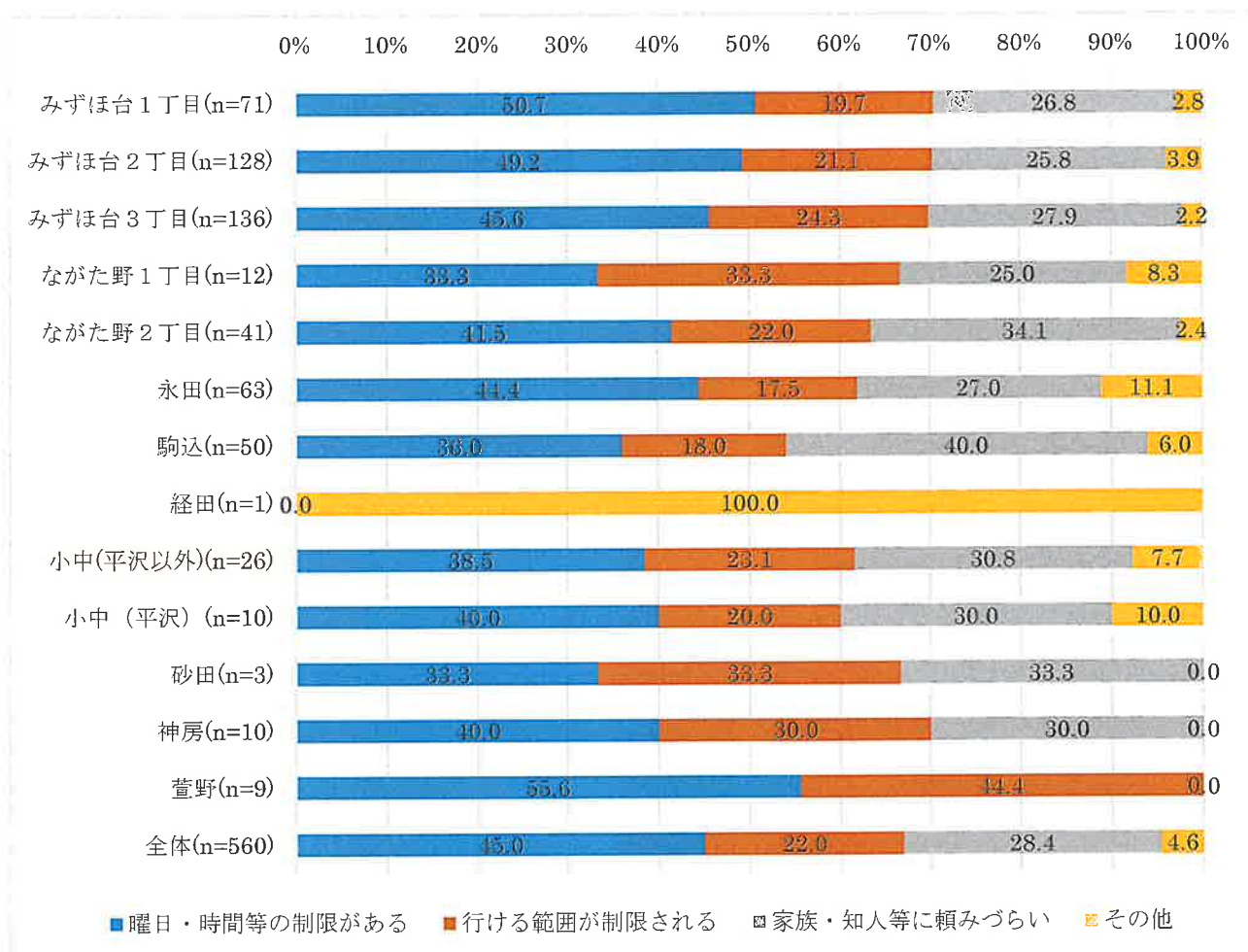


(9) 困った時はどのようにしていますか。(複数選択可)



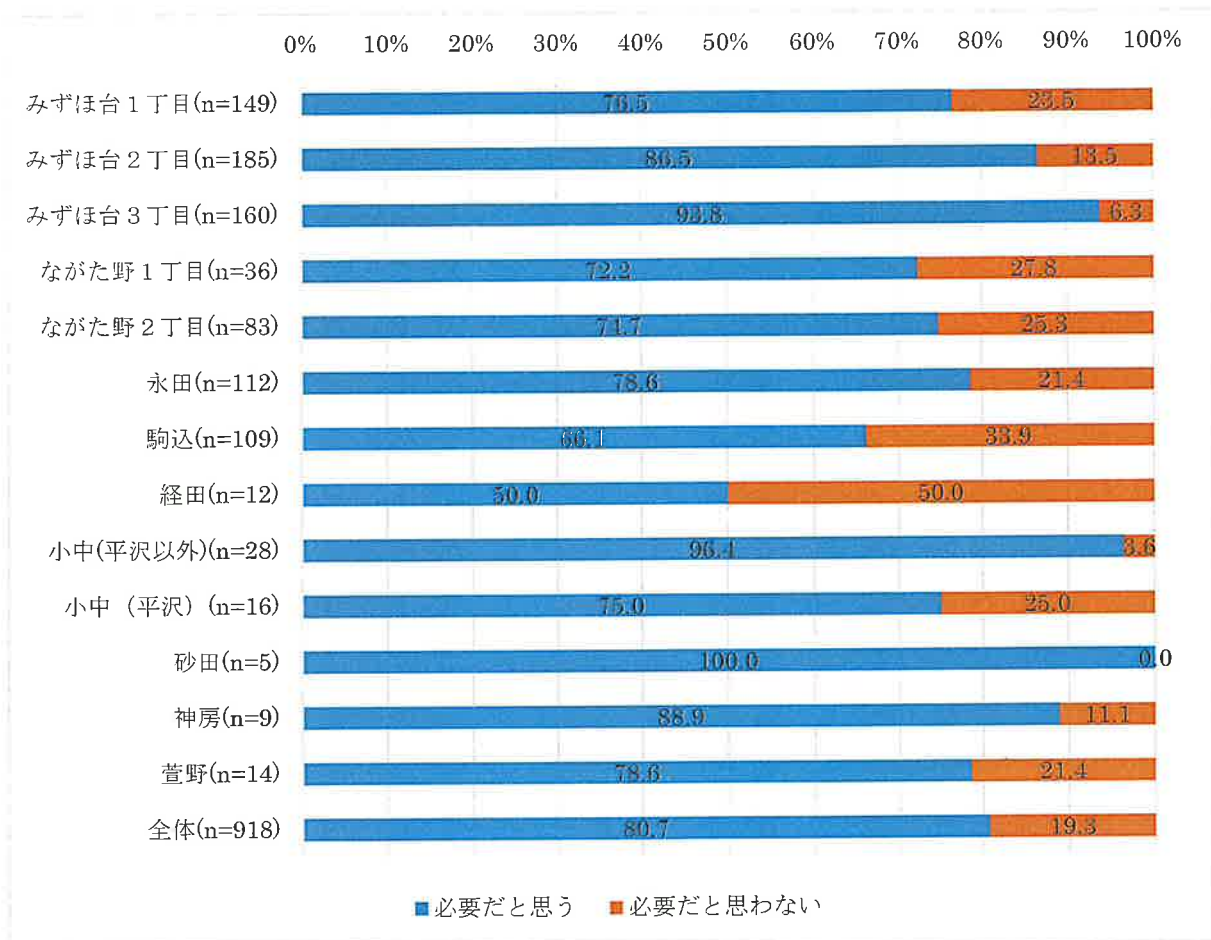
(10)(9)で「家族(親族)の自動車に乗せてもらう」もしくは「近所人や友人の自動車に乗せてもらう」を選んだ方にお聞きします。

送迎を依頼するにあたって困っていることはありますか。(複数選択可)

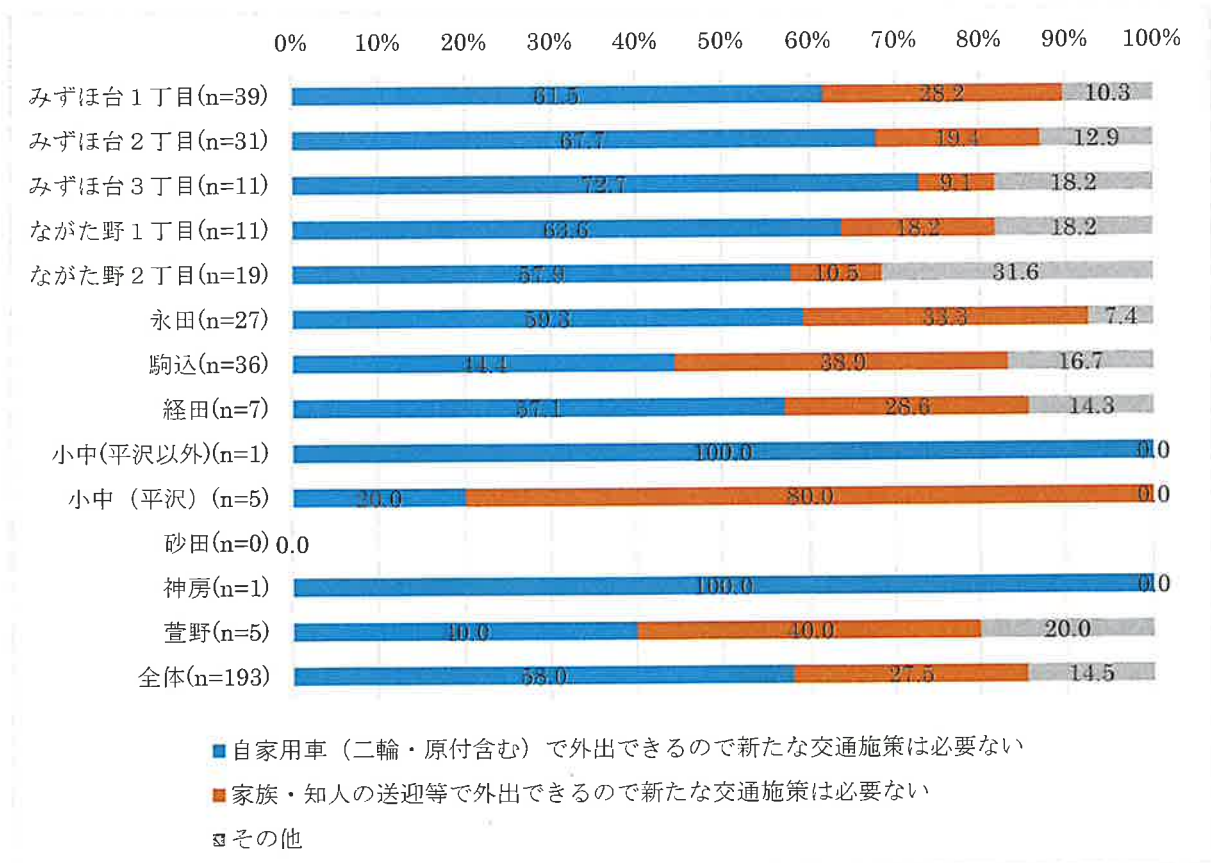


市の交通施策についてお聞かせください

問 2 (1) 瑞穂地区に新たな交通施策は必要だと思いますか。(1つ選択)



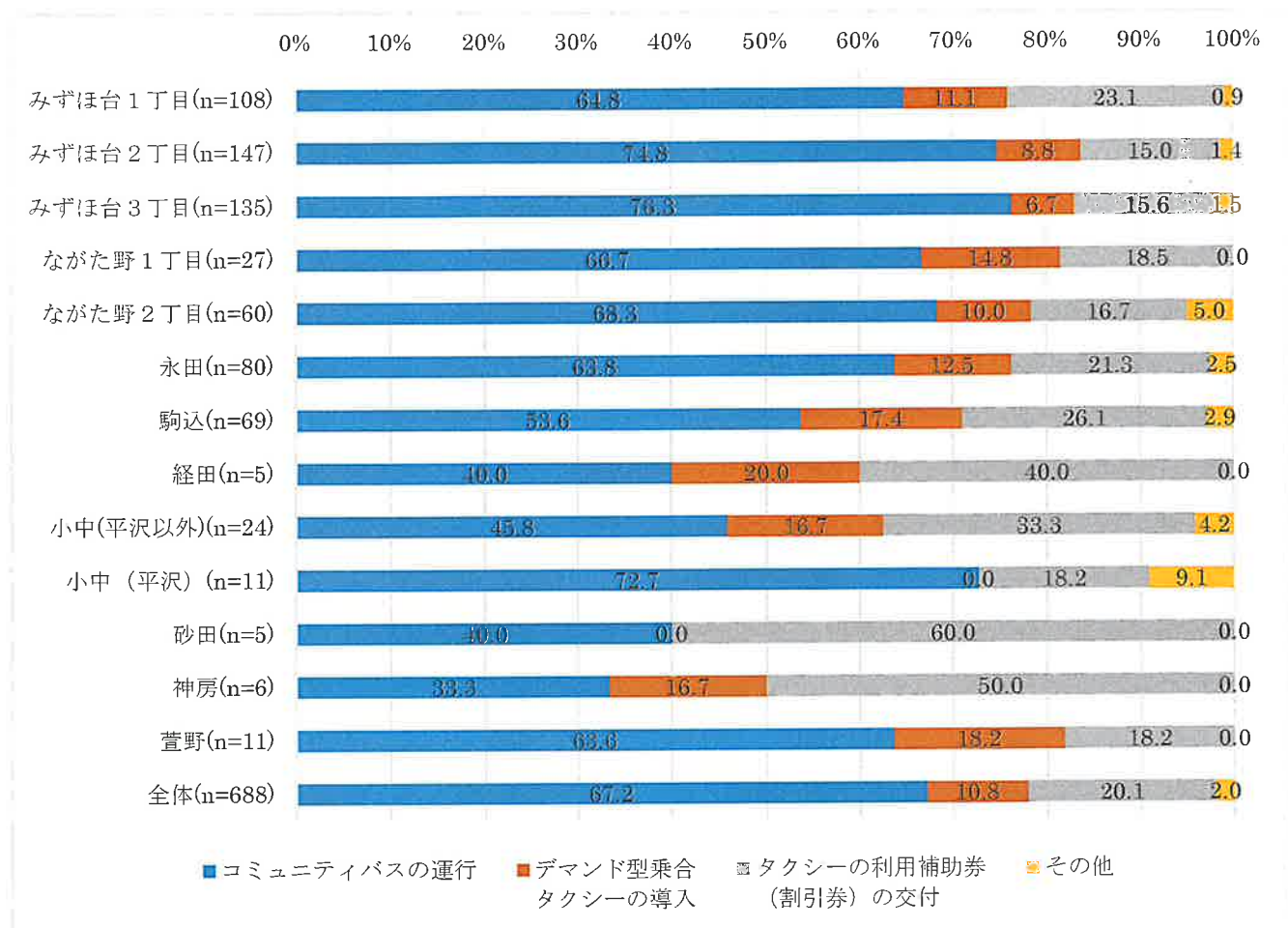
必要だと思わない理由を選んでください。(複数選択可)



(2) (1) で「1. 必要だと思う」と回答された方にお聞きします。

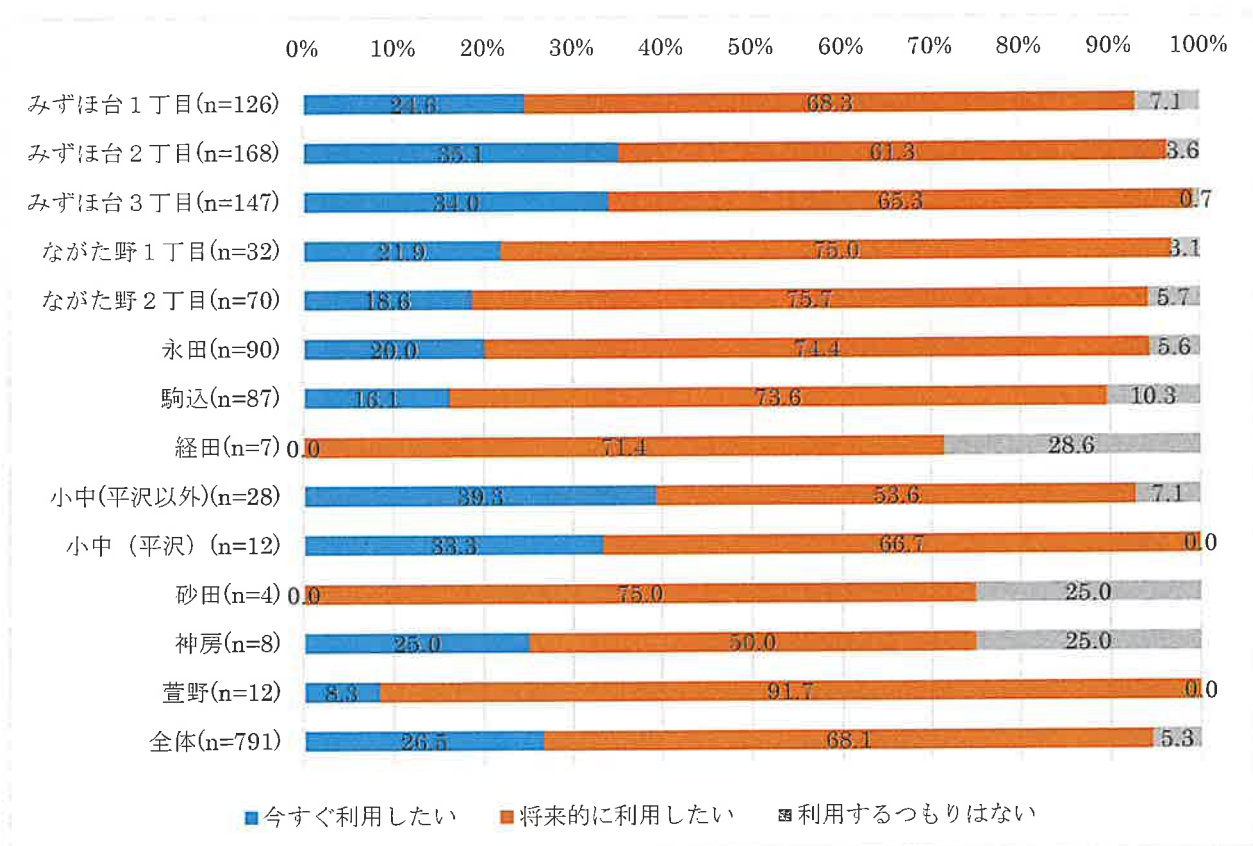
瑞穂地区の交通施策について、今後どのような取組が必要と考えますか。

(1つ選択)

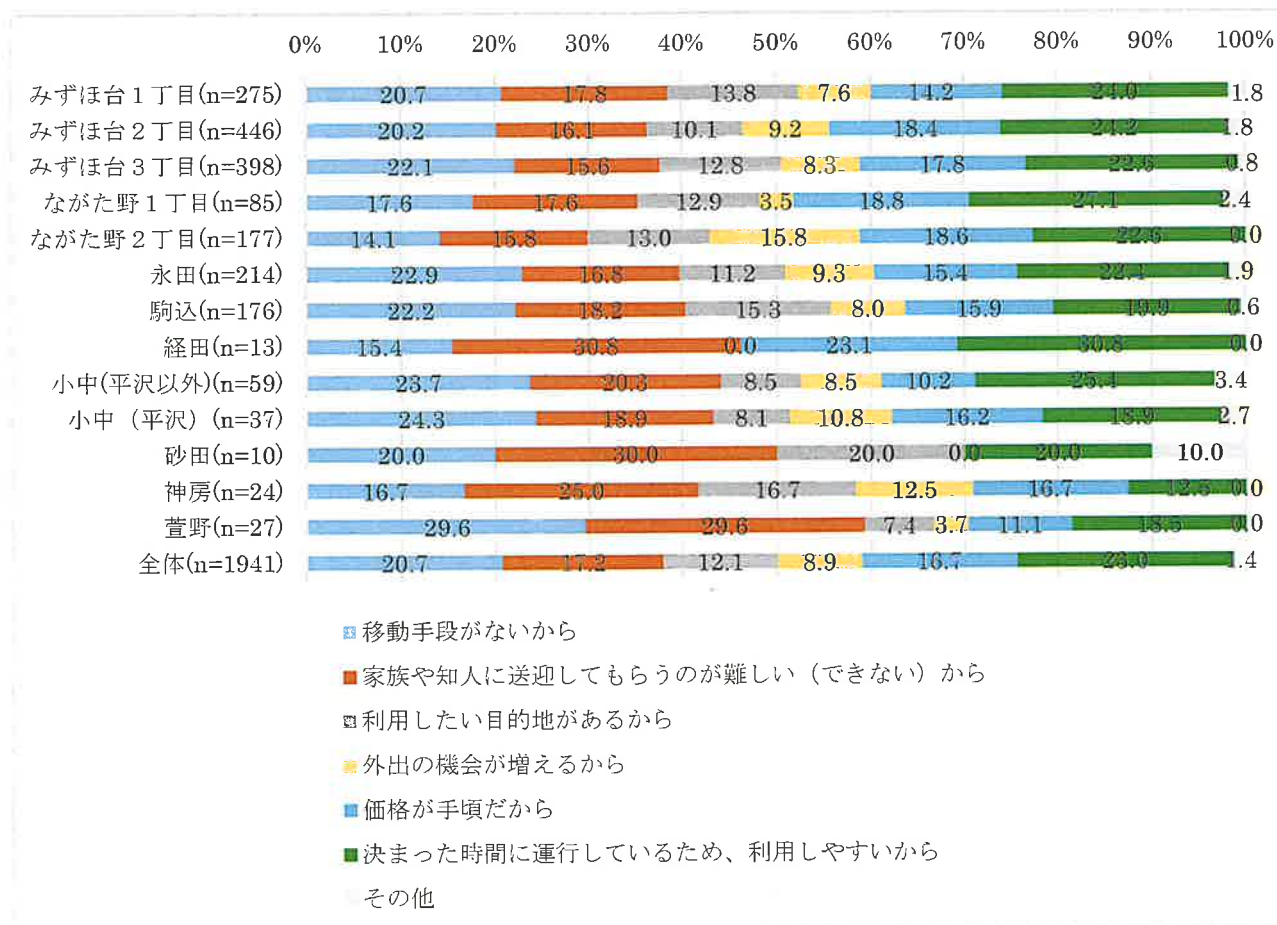


問3 コミュニティバスについてお聞きします

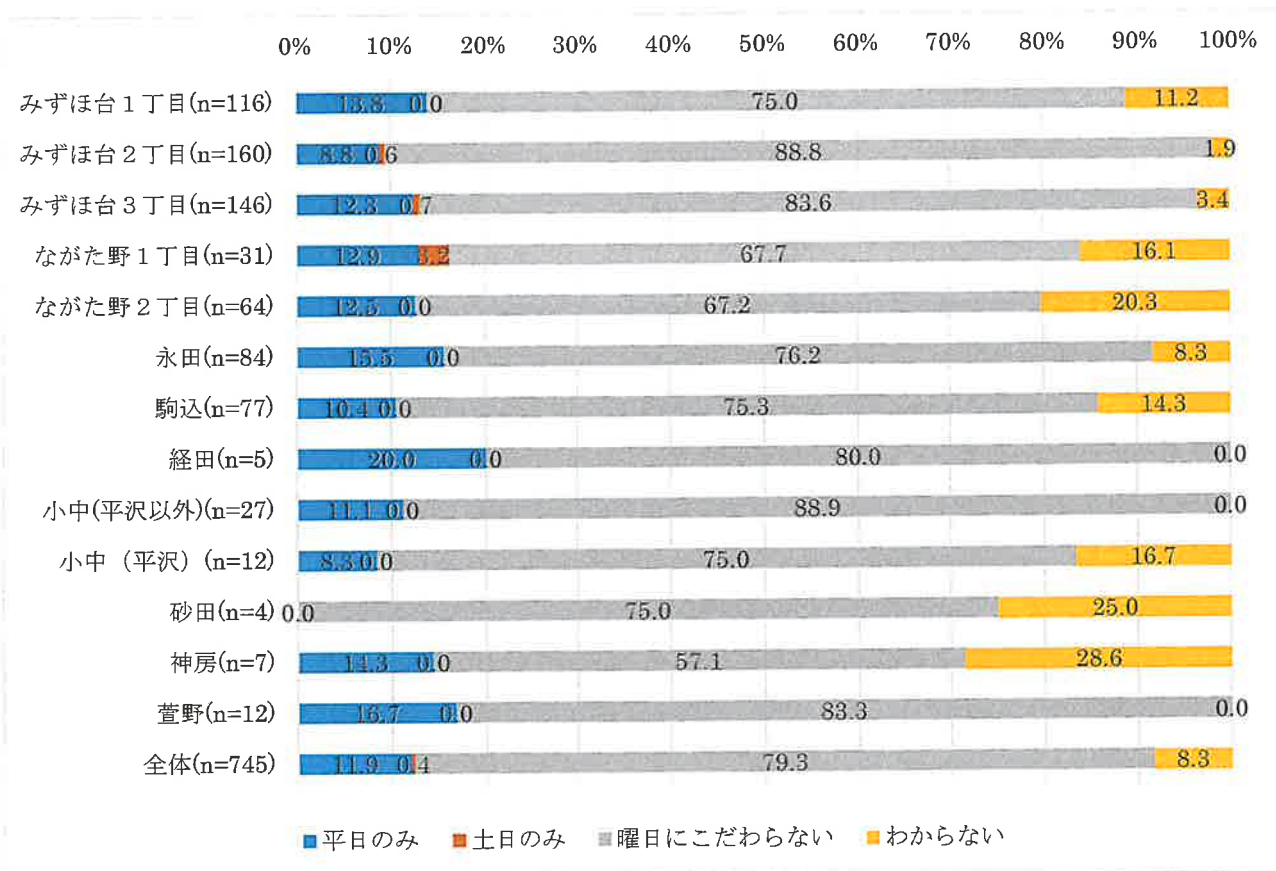
(1) コミュニティバスが運行された場合、利用したいですか。(1つ選択)



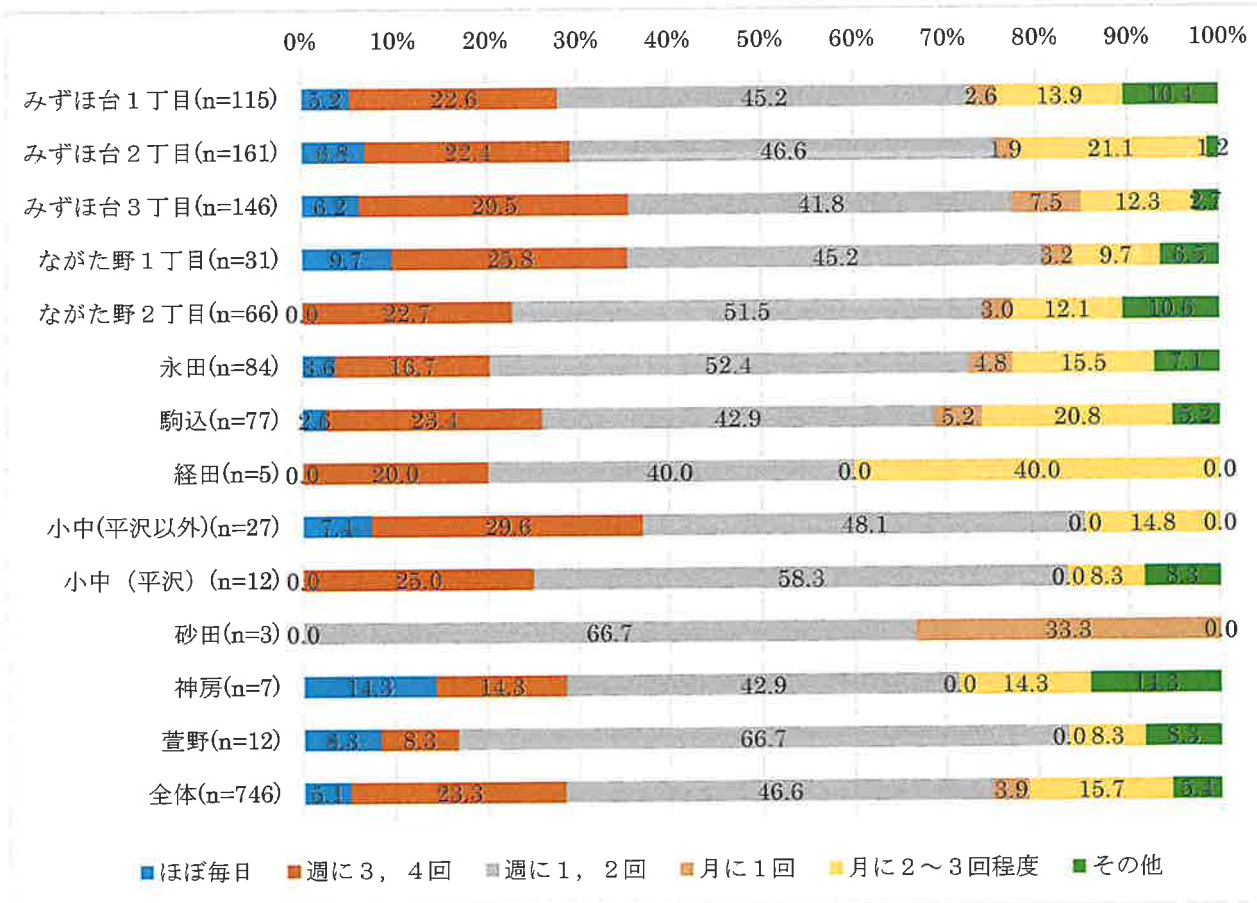
(2) コミュニティバスを利用したい理由は何ですか。(複数選択可)



(3) コミュニティバスをいつ利用したいですか。(1つ選択)



(4) コミュニティバスをどのくらいの頻度で利用したいですか。(1つ選択)



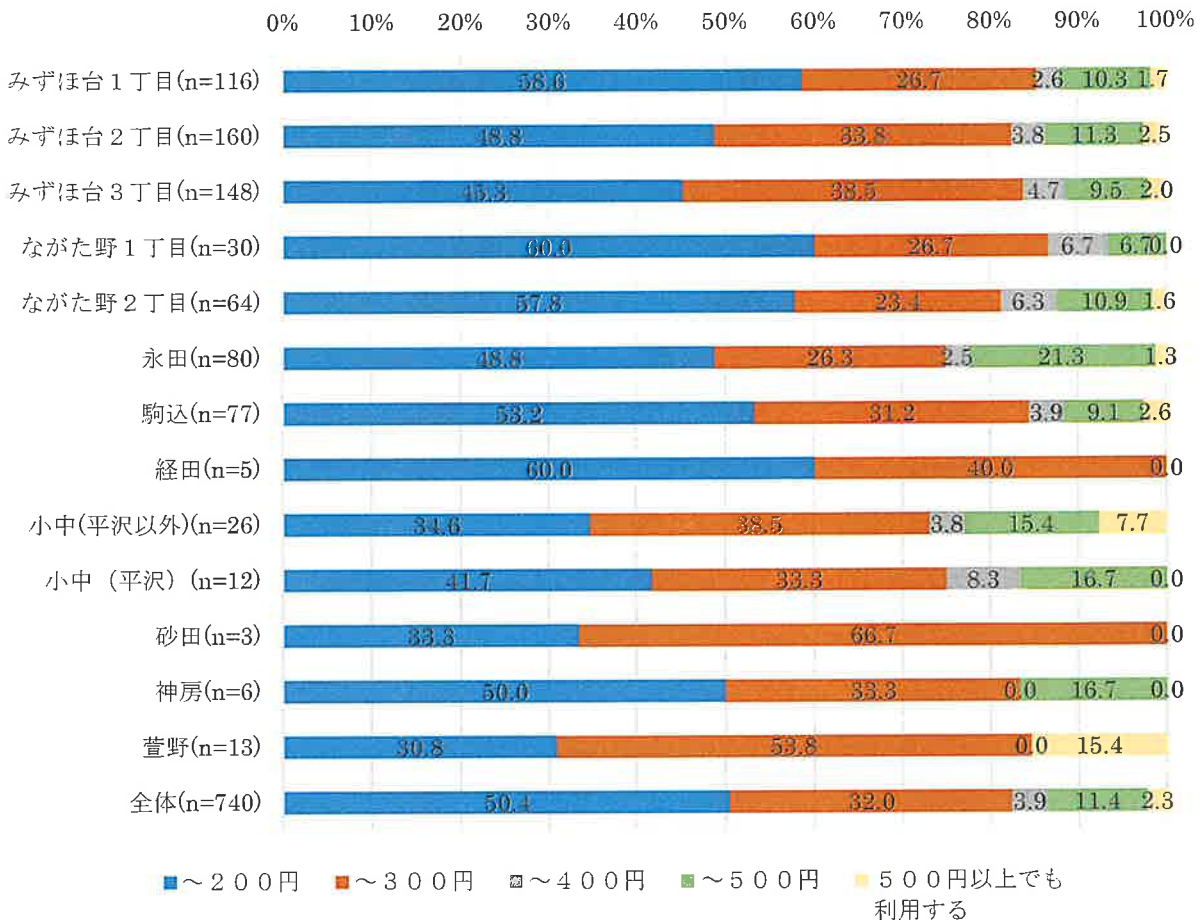
(5) 新たにコミュニティバスが運行された場合、利用したい行き先はありますか。行きたい場所があれば、利用目的・利用頻度・利用時間帯を3つまでご記入ください。

目的	行き先 (件数)	利用頻度	利用希望時間帯
買物	アミリィ (207件) 主婦の店 (17件) ベイシア (118件) 外 トップマート等	①週に3日以上: 21.2% ②週に1~2日: 58.2% ③1か月に数日: 20.1% ④その他: 0.5%	日中の利用が 大多数を占めた
通院	大網病院 (214件) 東千葉MC (18件) うじはらクリニック (21件) 橋本医院 (20件) 外 駒込クリニック等	①週に3日以上: 6.4% ②週に1~2日: 18.4% ③1か月に数日: 75.2%	日中の利用が 大多数を占めた
通学	大網駅まで等 (5件)	7時頃~18時頃の時間帯で利用希望が見られた	
通勤	大網駅まで等 (50件)	5時頃~21時頃の時間帯で利用希望が見られた	
公共 施設利用	市役所 (140件) 中央公民館 (18件) 図書室 (34件) 大網白里アリーナ (30件) 外 中部コミュニティセンター等	①週に3日以上: 11.8% ②週に1~2日: 36.8% ③1か月に数日: 51.4%	日中の利用が 大多数を占めた
趣味など	大網駅 58件 外 永田駅、中央公民館、大網 白里アリーナ等	①週に3日以上: 11.8% ②週に1~2日: 33.3% ③1か月に数日: 54.9%	日中の利用が 大多数を占めた

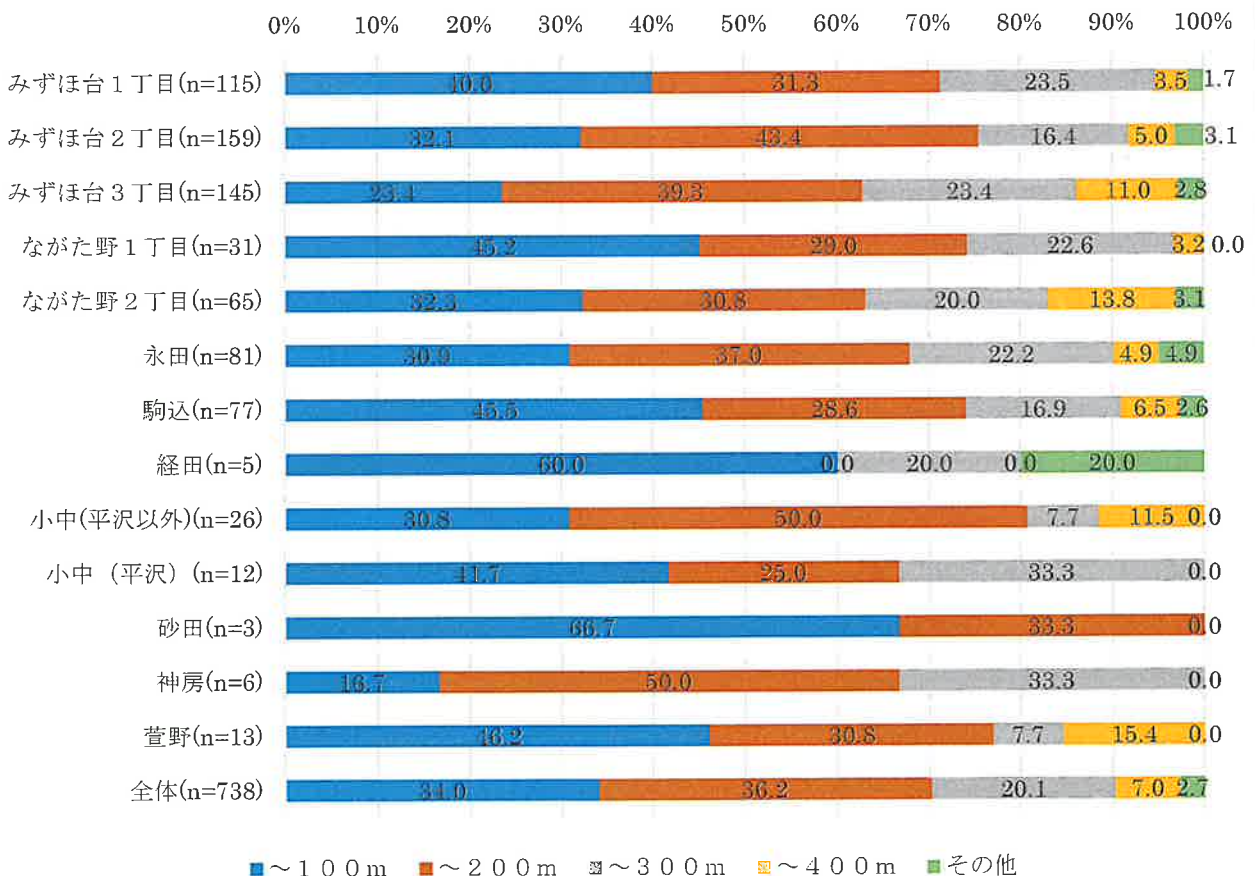
利用希望の多かった行き先

- ・アミリィ (207件)
- ・ベイシア (118件)
- ・大網病院 (214件)
- ・大網駅 (188件)
- ・市役所 (140件)

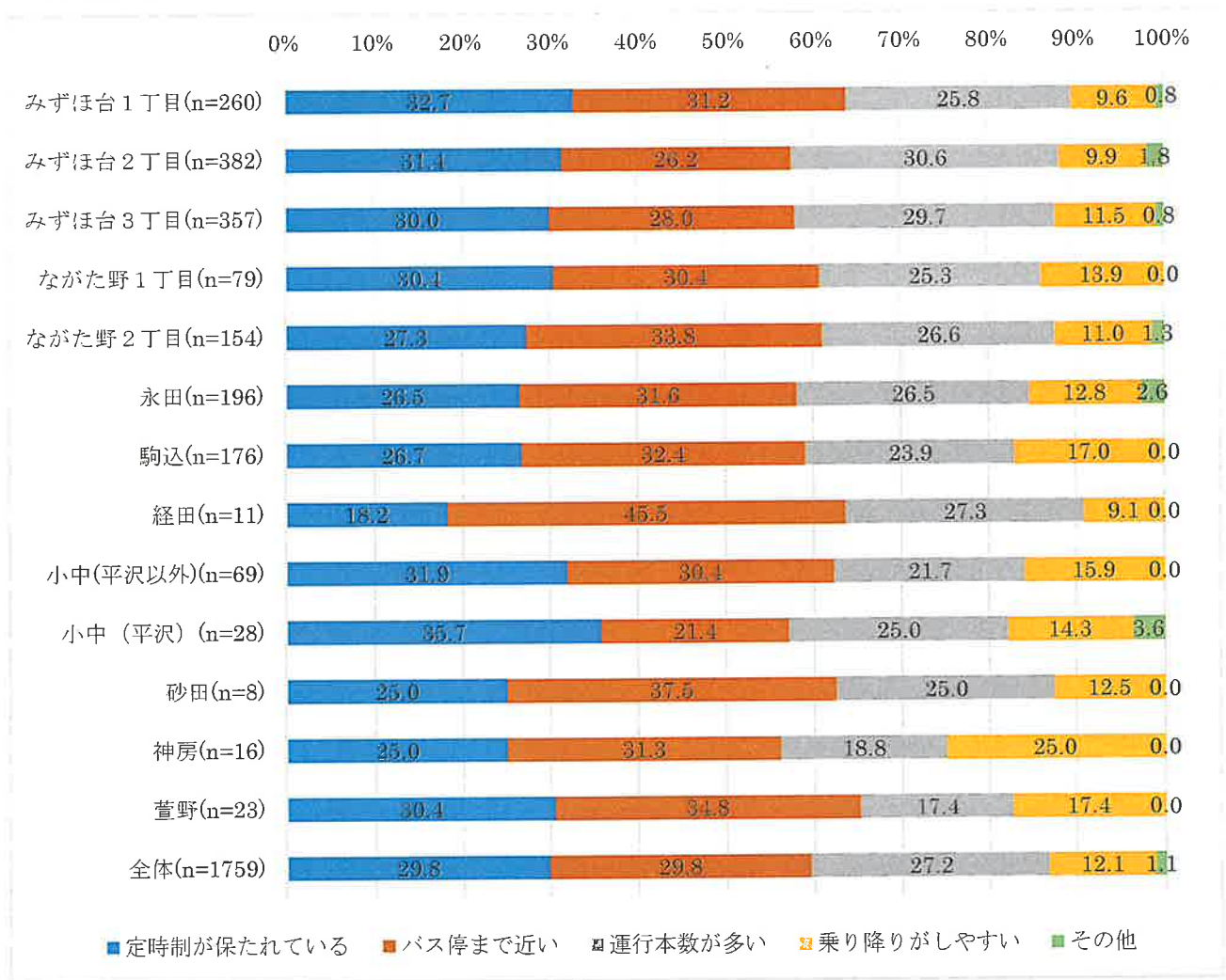
(6) 運賃がいくらまでなら、利用しますか。(1つ選択)



(7) ご自宅からバス停までの距離が何m以内なら、利用しますか。(1つ選択)

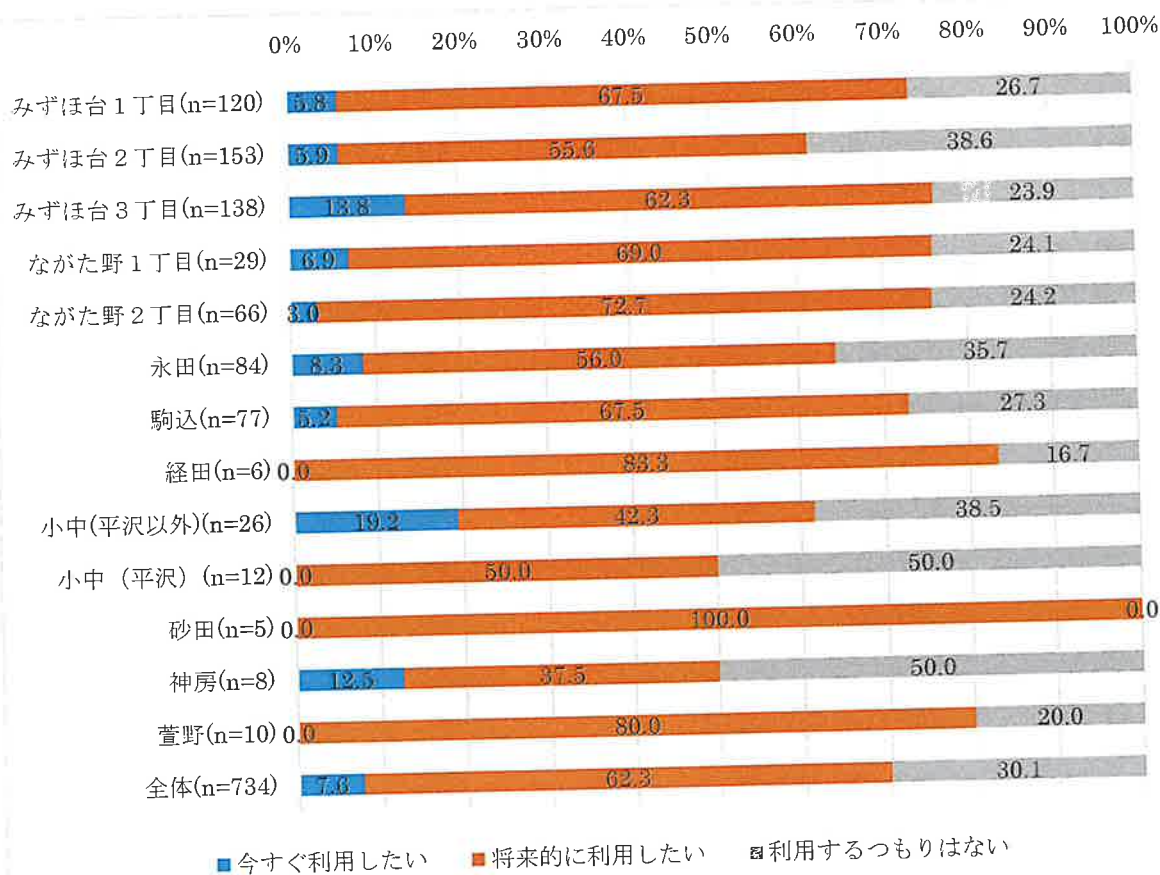


(8)コミュニティバスを利用されるにあたり、どのような事項が重要だとお考えですか。
(複数選択可)

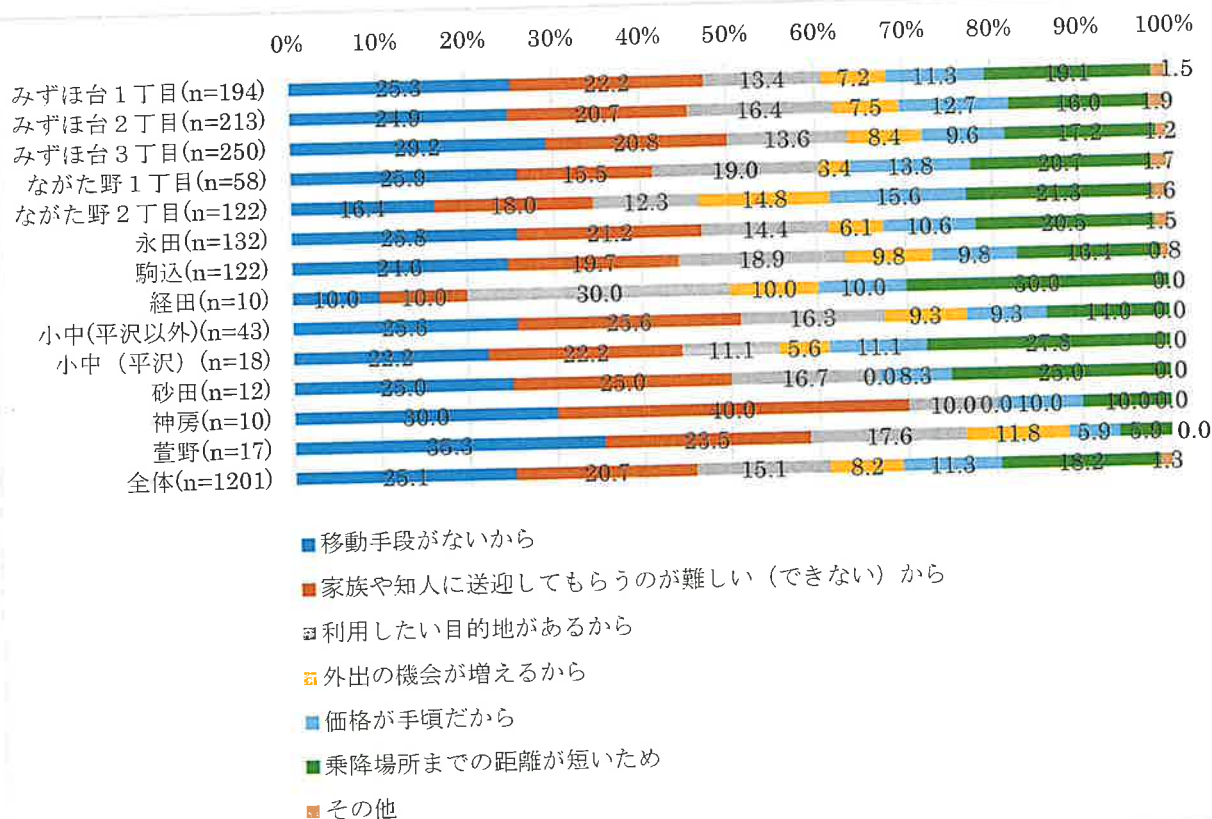


問4 デマンド型乗合タクシーについてお聞きします

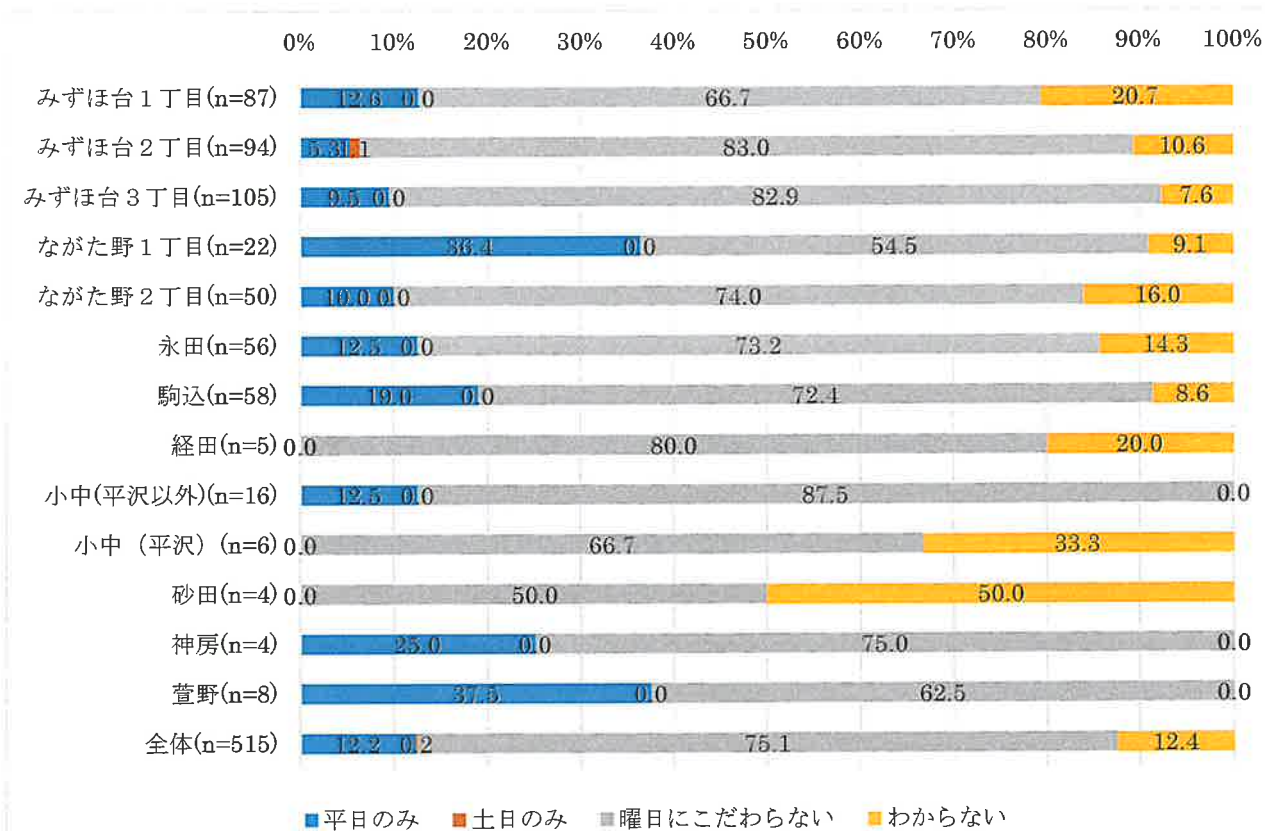
(1) デマンド型乗合タクシーが運行された場合、利用したいですか。(1つ選択)



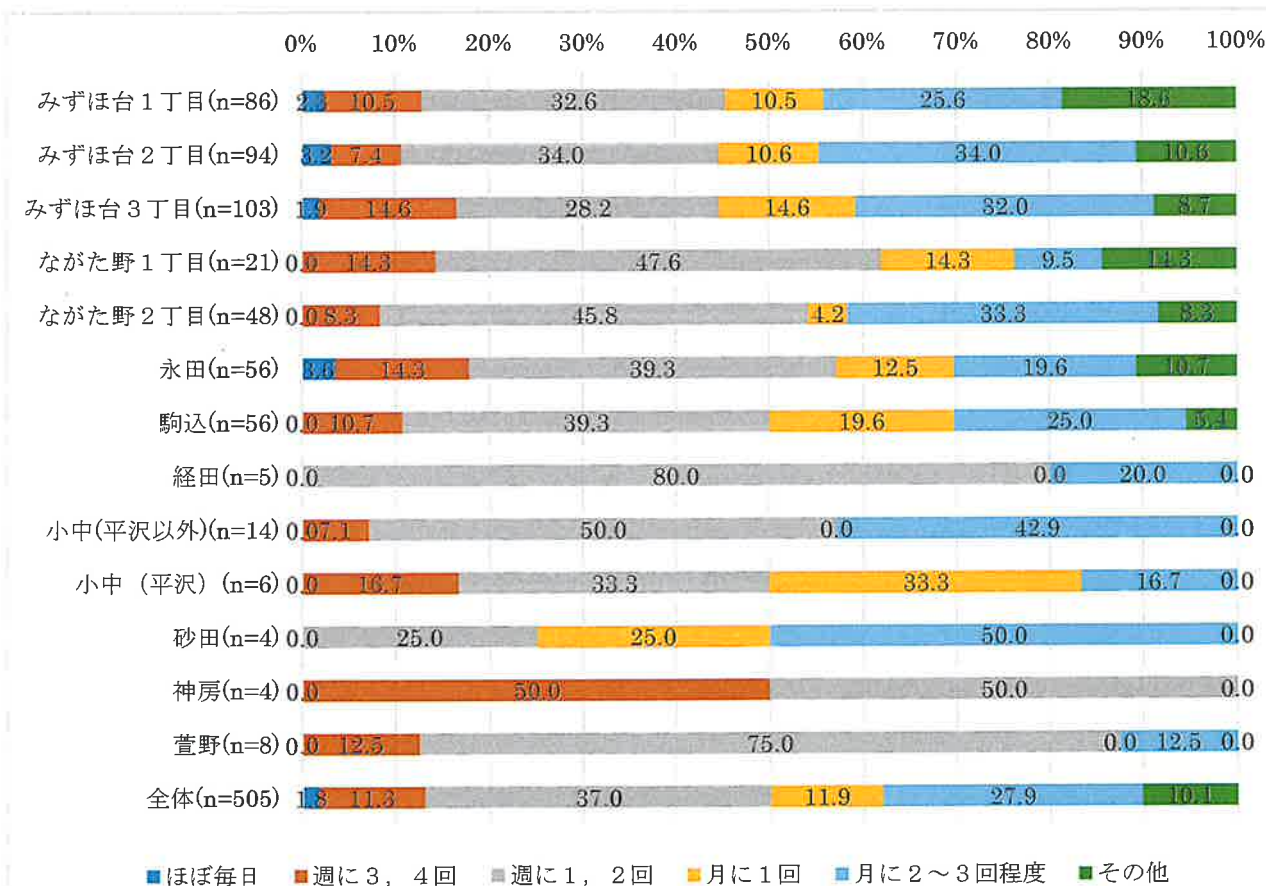
(2) デマンド型乗合タクシーを利用したい理由は何ですか。(複数選択可)



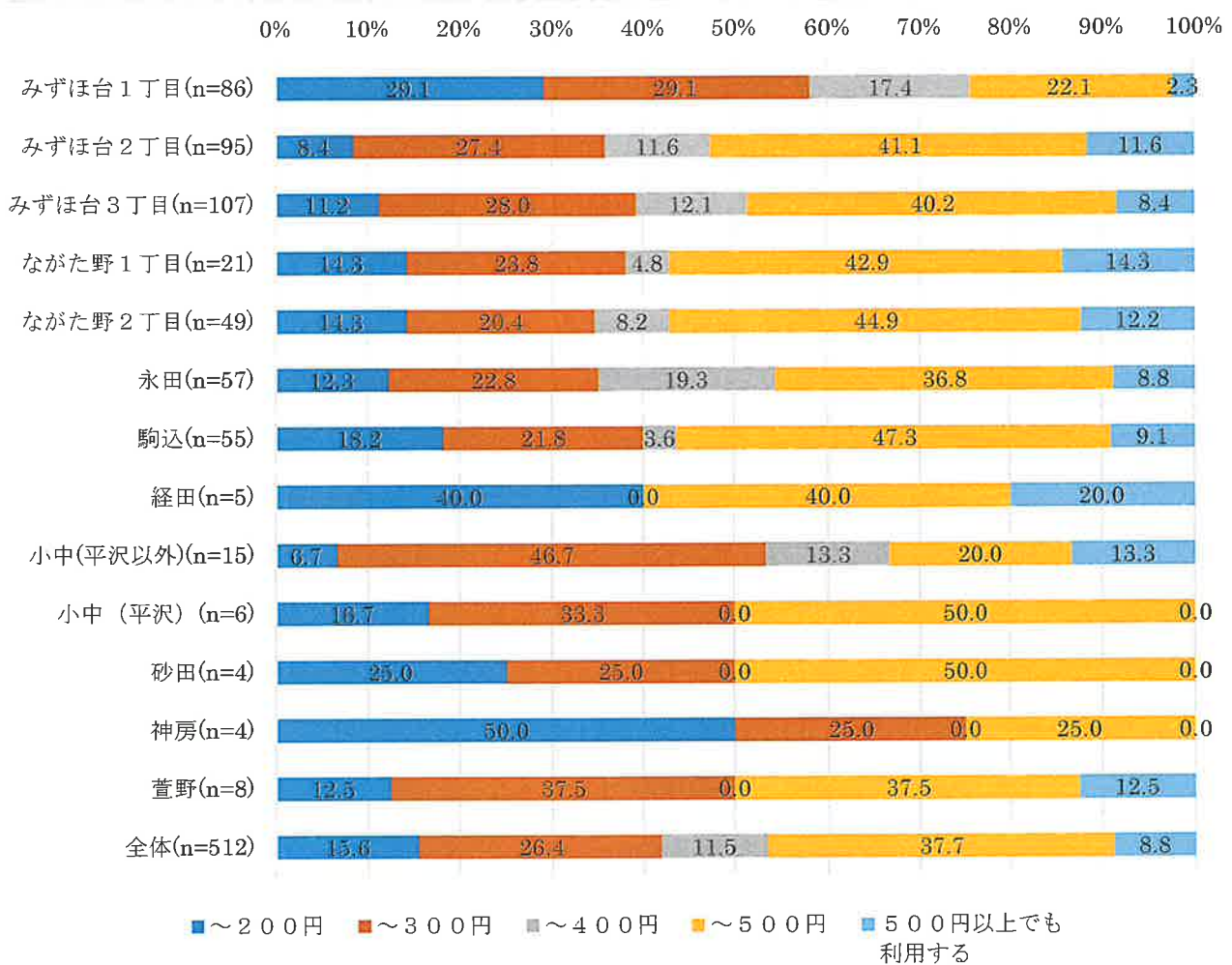
(3) デマンド型乗合タクシーをいつ利用したいですか。(1つ選択)



(4) デマンド型乗合タクシーをどのくらいの頻度で利用したいですか。(1つ選択)



(5) 運賃がいくらまでなら、利用しますか。(1つ選択)



(6)新たにデマンド型乗合タクシーが運行された場合、利用したい行き先はありますか。

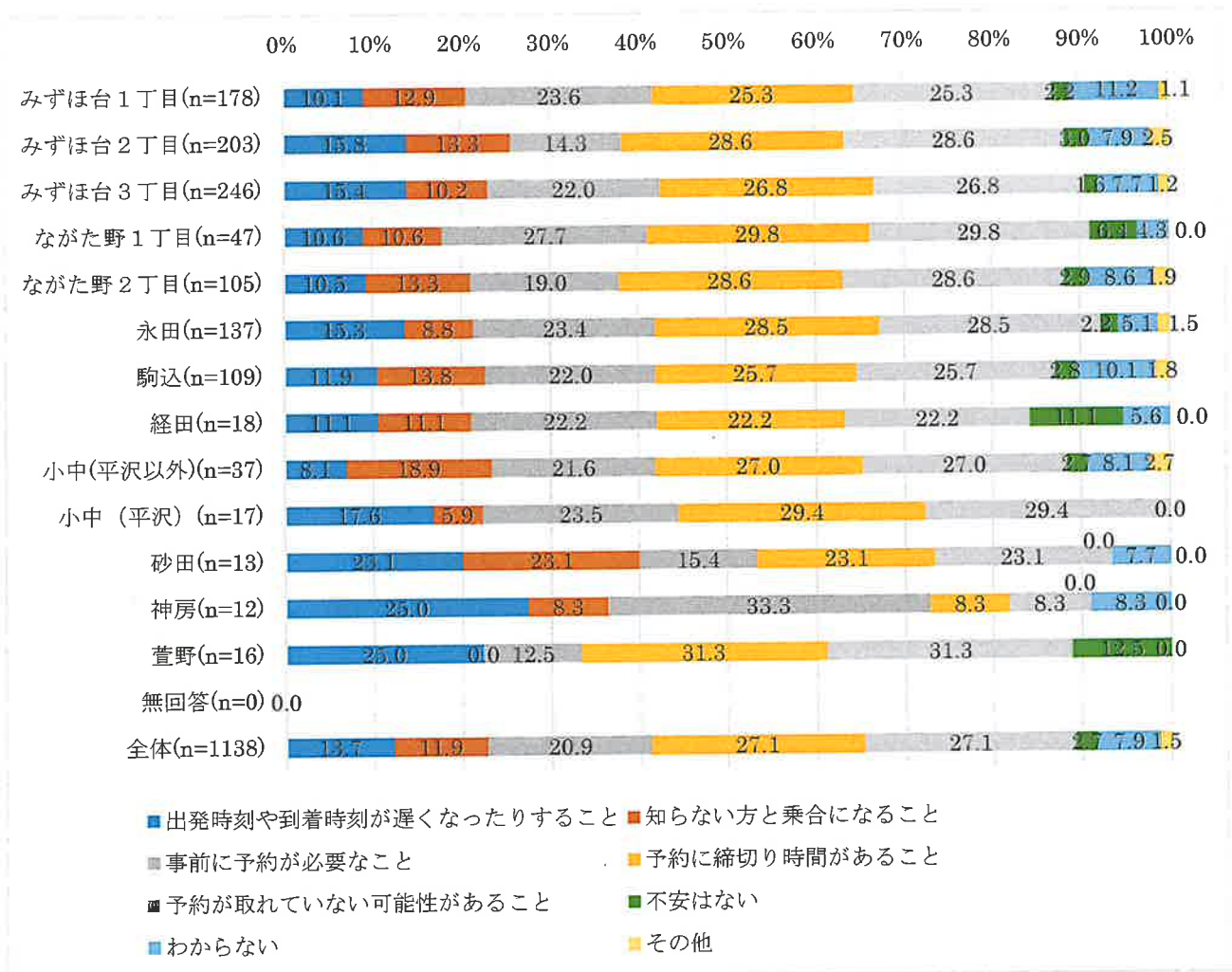
行きたい場所があれば、利用目的・利用頻度・利用時間帯を3つまでご記入ください。

目的	行き先	利用頻度	利用希望時間帯
買物	アミリィ (97件) 主婦の店 (12件) ベイシア (49件) 外 トップマート等	①週に3日以上:14.2% ②週に1~2日:58.9% ③1か月に数日:26.9%	日中の利用が 大多数を占めた
通院	大網病院 (115件) 東千葉MC (16件) うじはらクリニック (11件) 橋本医院 (11件) 外 駒込クリニック等	①週に3日以上:3.9% ②週に1~2日:18.8% ③1か月に数日:77.3%	日中の利用が 大多数を占めた
通学	大網駅まで等 (4件)	7時頃~21時頃の時間帯で利用希望が見られた	
通勤	大網駅まで等 (17件)	6時頃~22時頃の時間帯で利用希望が見られた	
公共 施設利用	市役所 (74件) 中央公民館 (13件) 図書室 (10件) 大網白里アリーナ (16件) 外 中部コミュニティセンター等	①週に3日以上:8.8% ②週に1~2日:32% ③1か月に数日:59.2%	日中の利用が 大多数を占めた
趣味など	大網駅 32件 外 永田駅、中央公民館、大網白里 アリーナ等	①週に3日以上:8.7% ②週に1~2日:31.0% ③1か月に数日:60.3%	日中の利用が 大多数を占めた

利用希望の多かった行き先

- ・アミリィ (97件)
- ・ベイシア (49件)
- ・大網病院 (115件)
- ・大網駅 (98件)
- ・市役所 (74件)

(7) デマンド型乗合タクシーを利用する際に不安なことはありますか。(複数選択可)



問5 市の交通施策等に関するご意見・ご要望等について、自由にご記入ください。

【交通全般】

- ・将来的に自家用車での移動が難しくなったときに、大網駅や病院、買い物、市役所への移動手段がなくなるので、住みづらくなる。高齢になっても安心して暮らせる街づくりをお願いしたいです。(みずほ台3丁目)
- ・将来的に瑞穂地区にも高齢者世帯が多くなると考えられますので、今は必要性は少なくとも、10年後には必ず必要になると思います。それを踏まえて今後の交通施策について考えてください。(みずほ台1丁目)
- ・今後、ますます高齢化に伴い、移動手段が悩みの種となっています。あと何年車での移動ができるのか...タクシー又はバス乗用のため、補助があると助かります。便利な環境へと転居も考えます。(みずほ台1丁目)
- ・今のところは、大丈夫ですが、高齢なので気を遣わず車(運転)を頼むところがあったらいいと思います。(駒込)
- ・瑞穂地区は、大網白里市の中でも住民の人口比が他地域に比べて高い地域であり、今後高齢化がさらに進むと思われる。実際のところ、みずほ台の初期の入居者の方々は免許返納される年齢層が多く、高齢者の夫婦や単身者住まいが今後さらに増加していくと思う。増穂、白里地域と地域格差のない公共交通の整備をぜひ一日も早く実行していただきたくお願い申し上げます。(みずほ台3丁目)
- ・3,000世帯が住む街にバスが1本(昼間)も無いことにとても驚いています。高齢者の少人数化、車の運転の危なさを常々感じながらも、車に変わる移動手段のなさが免許返納に至らない原因でもあると思います。今、まさしくみずほ台は陸の孤島だと思つづく思います。(みずほ台1丁目)

- ・駒込15区周辺は交通の便が良く買い物、病院等にも比較的便利のためアンケートの趣旨にそぐわないと思う。コミュニティバスが運行されているのを見ると、あまり乗降率が良くなく、特に白里地区については、別の方法を考える必要があると思います。

(駒込)

【コミュニティバス】

- ・以前から瑞穂地区にコミュニティバスが運行されていない事に疑問を思っていました。高齢者になり、腰を痛めて歩行が困難になり、平日の買い物、病院、趣味での公共施設の利用が不便になり、平日は知人にお願いしたり、タクシーを利用したりしています。それも頼みづらい時もあります（土日は家族に頼めるのですが）。

コミュニティバスが運行されると幸いです。(駒込)

- ・今は自家用車がありますが、5年後、10年後を考えると不安になります。ぜひとも、コミュニティバスを瑞穂地区にも走らせていただければ、積極的に利用したいと思いますので、よろしくお願いします。(みずほ台2丁目)

- ・デマンド型乗合タクシーはハードルが高いと感じます。コミュニティバスは気軽に利用できると思います。(小中(平沢以外))

- ・自動車免許を返納し、コミュニティバス利用が増えると思う。
みずほ台地区も70歳以上で無理して車を運転しなくてもよくなり、バス運行により返納する人も増えると思います。(みずほ台3丁目)

- ・大網駅を中心にコミュニティバスを運行していただくと助かります。
今は退職して駅を利用する頻度が減りましたが、現役時代は朝夕に運行していただくと、もっと利用したと思います。マイカーの駅への送迎も駅周辺の朝夕の混雑を解消すると思いますので、是非検討していただきたいです（バスは2時間に1本を希望）。

(みずほ台1丁目)

- ・現在はまだ自分で車を運転できるが、将来運転ができなくなることになると思うので、近くを走るバスがあれば、利用したい。民間運営だと赤字になると廃線になってしまうので、公共機関での営業を期待したいです。(永田)
- ・交通手段は電車のみですので、コミュニティバスが1時間に1回運行してほしいです。今はながた野方面にバスは来ていませんので、車を返納した場合、買い物に出かけられません。早急に検討をお願いしたいです。(ながた野1丁目)
- ・高齢者のため、免許証を返納したいと考えておりますが、みずほ台循環（以前は利用していました）が無くなり、とても不便な地区になりました。
白里方面は、路線バス・コミュニティバス等何台も行っており、疑問に思います。
瑞穂地区方面にもバスの運行を切にお願いいたします。(みずほ台3丁目)
- ・コミュニティバスの費用対効果（利用者数、費用）に驚かされました。タクシーの補助金などで良い解決方法があるといいのですが。足のない人にとって頭の痛い問題です。
(みずほ台1丁目)

【デマンド型乗合タクシー】

- ・瑞穂地区にも高齢化が進み、免許証返納する方も増えると思います。何らかの交通手段を早めに考えていただきたいと思います。一番いいのは、自宅まで送迎してくれる乗合タクシーのような方法がいいのでは。特に荷物がある時には、歩くことが大変です。そのための補助金等について考えていただければありがたいです。(みずほ台1丁目)
- ・スマホを使ってタクシーを利用したり、家の近くで乗り込んで利用できる交通手段があると、利用するのに便利だと思う。(みずほ台1丁目)

【タクシーの利用補助券（割引券）の交付】

- ・経費の面から考えると、コミュニティバスの運行とデマンド型乗合タクシーは難しいと思われます。個々の需要に応じた交通手段となると、タクシー券の補助が割安で継続可能かと思います。

みずほ台も高齢化が進んでいるので、早急に対策実施をお願いします。（みずほ台2丁目）

- ・現在、電動自転車2台で移動していますが、自転車道が狭くてこわいです（歩道の段差をなくして欲しい）。コミュニティバスが運行しても、時間、駅から乗り換え等を考えると中々難しいです。できれば、タクシー乗車券を半額くらい負担してもらえればありがたいです。年々歩くことが難しくなります。（みずほ台3丁目）

【その他】

- ・過疎地域に住んでいる者にはデマンド型乗合タクシーに対する需要イメージが浮かばない。むしろ単独のニーズに対応出来る方式が望まれる。現行の都市部のタクシー会社ベースのUberモデルの導入は供給の乏しくなる時間帯がメインと聞いています。自由度を高めた新たなUber型モデルが必要と考えます。ただ、住宅密集地での需要が見込まれるデマンド型乗合タクシーを否定するものではないので、タクシー会社はそれで新たな需要を作り出せばいいのではないかと思います。（小中（平沢以外））

- ・ライドシェアの普及を推進してもらいたいです。海外で使いましたが非常に便利です。可能なら一定年齢以上の利用者に市からの補助が出て、安く利用できるようになると使いやすい。デマンドタクシーは乗合のため利用者にとっては制約があって使いづらいと思います。（みずほ台1丁目）

公共交通に関するアンケート 調査票

問 1 下記の設問ごとにあてはまるもの（数字）に、○をつけてください。

カッコ内は具体的な内容や数字をご記入ください。

※世帯でよく話し合い、世帯全体の意見を反映させた回答をお願いします。

(1)お住まいの住所地をお聞きます。(○を1つ)	1. みずほ台1丁目 2. みずほ台2丁目 3. みずほ台3丁目 4. ながた野1丁目 5. ながた野2丁目 6. 永田 7. 駒込 8. 経田 9. 小中(平沢以外) 10. 小中(平沢) 11. 砂田 12. 神房 13. 萱野
(2)世帯構成についてお聞きます。(○を1つ)	1. 単身世帯 2. 夫婦 3. 親子 4. 親と子と孫 5. その他()
(3)あなたの世帯では、自家用車をお持ちですか。	1. 持っている 2. 持っていない → (6)へ
(4)あなたの世帯では、近い将来、自家用車以外の交通手段が必要となる方はいますか。(○を1つ)	1. いる 2. いない 3. わからない
(5)自家用車以外の交通手段が必要な場合、利用したいものを選んでください。(複数選択可)	1. バス 2. タクシー 3. 自転車 4. 鉄道 5. その他()
(6)外出に際し、不便に感じることがありますか。(複数選択可) ※「特に不便はない」を選択した方は、問2へ	1. 特に不便はない 2. 自宅付近を運行するバスがない 3. タクシー料金が高い 4. 自宅から駅まで遠く感じる 5. その他()

市の交通施策についてお聞かせください

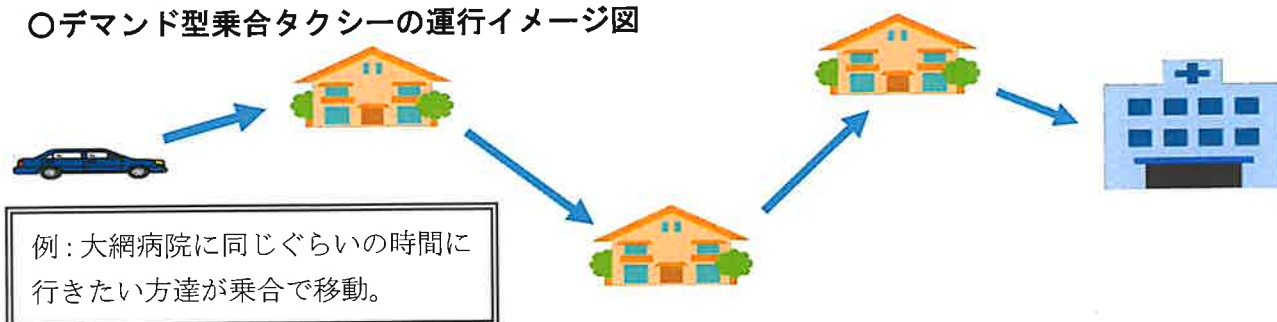
路線バス等が運行していない地域の住民の移動手段を確保するため、全国で地方自治体等が主体となりコミュニティバスやデマンド型乗合タクシーを運行しています。

現在、本市では増穂地区と白里地区でコミュニティバスを運行しており、高齢者や運転免許自主返納者などの移動困難者の買い物や通院など日常生活の移動手段として利用されています。

問2～問4では、今後の瑞穂地区の交通施策を検討するための設問となりますので、下記の資料を参考にいただき、ご回答をお願いいたします。

	コミュニティバス	デマンド型乗合タクシー
本市の導入状況	導入済（増穂地区、白里地区）	未導入
運行主体	地方自治体（市）等	地方自治体（市）等
乗車方法	バス停で乗降 （一部区間では、バス停以外でも乗降可）	利用者登録の方が事前に予約して利用 （自宅や近隣の乗降場所から乗車し目的地へ移動）
運行車両	バスまたはマイクロバス等	タクシーまたはジャンボタクシー等
運行ルート	既定のルートを運行	利用者の目的地に応じて運行
運行時刻	既定の時刻表のとおり運行	利用者の予約時間に応じて運行
運賃	増穂地区⇒一般200円（一律） 白里地区⇒一般200円～500円	200円～500円程度（県内他自治体） ※一般のタクシーより安価
メリット	・予約不要 ・定時運行のため予定が立てやすい ・運賃が安い	・自宅近くで乗車可能 ・ある程度、自分の使いたい時間に合わせて利用することができる ・一般のタクシーより安価
デメリット	・バス停まで行く必要がある ・運行時刻表に合わせて予定を立てる必要がある	・事前登録、事前予約が必要 ・予約状況によって利用できないことがある ・乗合で運行するため、乗降場所又は目的地への到着時刻が前後することがある
その他	・国道や県道を除く交通量の少ない道路では、バス停以外でも乗降が可能	・予約には電話、パソコン、スマートフォンを使用

○デマンド型乗合タクシーの運行イメージ図



【参考】コミュニティバス運行にかかる経費（令和5年度実績値）

	増穂地区コミュニティバス	白里地区コミュニティバス
運行委託料	18,504,183円	7,636,976円
年間利用者数	24,967人	2,432人
運賃	200円（一律）	白里地区⇄大網市街地：500円 白里地区内、大網市街地内の乗降：200円
便数	1日8便	1日5便
運行日	年中無休 （366日）	月曜日～金曜日（祝日と年末年始は運休） （244日）

○デマンド型乗合タクシーについては、現在、本市では運行していません。
デマンド型乗合タクシーの運行経費は、運行形態等によって大きく変わります。

問2 (1) 瑞穂地区に新たな交通施策は必要だと思いますか。(どちらかに○)

1. 必要だと思う → (2) へ (以降、問3, 4にご回答ください)

2. 必要だと思わない

↓ 必要だと思わない理由を選んでください。(複数選択可)

ア. 自家用車(二輪・原付含む)で外出できるので新たな交通施策は必要ない

イ. 家族・知人の送迎等で外出できるので新たな交通施策は必要ない

ウ. その他 ()



問5へ

(2) ここからは、前問で「1. 必要だと思う」と回答された方にお聞きします。

瑞穂地区の交通施策について、今後どのような取組が必要と考えますか。(○を1つ)

1. コミュニティバスの運行

2. デマンド型乗合タクシーの導入

3. タクシーの利用補助券(割引券)の交付

4. その他 ()

問3 コミュニティバスについてお聞きします。

(1) コミュニティバスが運行された場合、利用したいですか。(○を1つ)

- 1. 今すぐ利用したい
- 2. 将来的に利用したい
- 3. 利用するつもりはない → 問4へ

(2) コミュニティバスを利用したい理由は何ですか。(複数選択可)

- 1. 移動手段がないから
- 2. 家族や知人に送迎してもらるのが難しい(できない)から
- 3. 利用したい目的地があるから
- 4. 外出の機会が増えるから
- 5. 価格が手頃だから
- 6. 決まった時間に運行しているため、利用しやすいから
- 7. その他 ()

(3) コミュニティバスをいつ利用したいですか。(○を1つ)

- 1. 平日のみ 2. 土日のみ 3. 曜日にこだわらない 4. わからない

(4) コミュニティバスをどのくらいの頻度で利用したいですか。(○を1つ)

- 1. ほぼ毎日 2. 週に3, 4回 3. 週に1, 2回
- 4. 月に1回 5. 月に2~3回程度 6. その他 ()

- (5) 新たにコミュニティバスが運行された場合、利用したい行き先はありますか。
 行きたい場所があれば、次の表に、利用目的・利用頻度・利用時間帯を3つまで
 ご記入ください。

行き先	利用目的 (下記から選択)	利用頻度 (下記から選択)	利用希望時間帯 (具体的に記入)
〇〇病院	2	2	行き 〇時〇〇分頃 帰り 〇時〇〇分頃
	1. 買物 2. 通院 3. 通学 4. 通勤 5. 公共施設利用 6. 趣味など	1. 週に3日以上 2. 週に1~2日 3. 1か月に数日	
	1. 買物 2. 通院 3. 通学 4. 通勤 5. 公共施設利用 6. 趣味など	1. 週に3日以上 2. 週に1~2日 3. 1か月に数日	
	1. 買物 2. 通院 3. 通学 4. 通勤 5. 公共施設利用 6. 趣味など	1. 週に3日以上 2. 週に1~2日 3. 1か月に数日	

- (6) 運賃がいくらまでなら、利用しますか。(〇を1つ)

1. ~200円 2. ~300円 3. ~400円
 4. ~500円 5. 500円以上でも利用する

- (7) ご自宅からバス停までの距離が何m以内なら、利用しますか。(〇を1つ)

1. ~100m 2. ~200m 3. ~300m
 4. ~400m 5. その他(具体的な数値:)

- (8) コミュニティバスを利用されるにあたり、どのような事項が重要だとお考えですか。
 (複数選択可)

1. 定時制が保たれている 2. バス停まで近い
 3. 運行本数が多い 4. 乗り降りがしやすい
 5. その他 ()

問4 デマンド型乗合タクシーについてお聞きします。

(1) デマンド型乗合タクシーが運行された場合、利用したいですか。(○を1つ)

- 1. 今すぐ利用したい
- 2. 将来的に利用したい
- 3. 利用するつもりはない → 問5へ

(2) デマンド型乗合タクシーを利用したい理由は何ですか。(複数選択可)

- 1. 移動手段がないから
- 2. 家族や知人に送迎してもらうのが難しい(できない)から
- 3. 利用したい目的地があるから
- 4. 外出の機会が増えるから
- 5. 価格が手頃だから
- 6. 乗降場所までの距離が短いため
- 7. その他 ()

(3) デマンド型乗合タクシーをいつ利用したいですか。(○を1つ)

- 1. 平日のみ 2. 土日のみ 3. 曜日にこだわらない 4. わからない

(4) デマンド型乗合タクシーをどのくらいの頻度で利用したいですか。(○を1つ)

- 1. ほぼ毎日 2. 週に3, 4回 3. 週に1, 2回
- 4. 月に1回 5. 月に2~3回程度 6. その他 ()

(5) 運賃がいくらまでなら、利用しますか。(○を1つ)

- 1. ~200円 2. ~300円 3. ~400円
- 4. ~500円 5. 500円以上でも利用する

(6)新たにデマンド型乗合タクシーが運行された場合、利用したい行き先はありますか。

行きたい場所があれば、次の表に、利用目的・利用頻度・利用時間帯を3つまでご記入ください。

行き先	利用目的 (下記から選択)	利用頻度 (下記から選択)	利用希望時間帯 (具体的に記入)
〇〇病院	2	2	行き 〇時〇〇分頃 帰り 〇時〇〇分頃
	1. 買物 2. 通院 3. 通学 4. 通勤 5. 公共施設利用 6. 趣味など	1. 週に3日以上 2. 週に1～2日 3. 1か月に数日	
	1. 買物 2. 通院 3. 通学 4. 通勤 5. 公共施設利用 6. 趣味など	1. 週に3日以上 2. 週に1～2日 3. 1か月に数日	
	1. 買物 2. 通院 3. 通学 4. 通勤 5. 公共施設利用 6. 趣味など	1. 週に3日以上 2. 週に1～2日 3. 1か月に数日	

(7) デマンド型乗合タクシーを利用する際に不安なことはありますか。(複数選択可)

1. 出発時刻や到着時刻が遅くなったりすること
2. 知らない方と乗合になること
3. 事前に予約が必要なこと
4. 予約に締切り時間があること
5. 予約が取れない可能性があること
6. 不安はない
7. わからない
8. その他 ()

問5

市の交通施策等に関するご意見・ご要望等について、自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

お手数をおかけいたしますが、同封の返信用封筒（切手不要）にて10月16日（水）までにアンケート調査票のみをご投函くださいますようお願いいたします。

白里地区コミュニティバスの運行実績について

白里地区コミュニティバスの運行実績について、報告します。

令和6年4月の運行計画変更後は、利用者数が増加しており、停留所を新設したスーパーカスミの利用者が多く見られます。

今後も、利用者の要望等を確認しながら目標の達成に向け、更なる利用促進に取り組んでまいります。

《令和5年度利用実績》

(日、人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
運行日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	
利用者数	223	194	212	212	210	251	201	199	206	128	159	189	
1便平均	2.2	1.9	1.9	1.9	2.1	2.5	1.9	1.9	2.0	1.3	1.6	1.8	2.0

《令和6年度利用実績》

(日、人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年平均 (~11月)
運行日数	21	21	20	22	20	19	22	20	
利用者数	271	258	251	319	307	321	321	255	
前年同月比	+48	+64	+39	+107	+97	+70	+120	+56	
1便平均	2.1	2.0	2.0	2.4	2.5	2.8	2.4	2.1	2.3